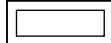


※  内は、ロットNo.表示位置を示しています。

■施工される方へのお願い

- 取扱い説明書は、必ず施主様へお渡しください。
- 本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

※製品破損による人への被害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

■設置条件

- それぞれの地域に対応したテラスをお選びください。
一般地域600タイプ→耐えられる積雪量の目安20cm相当〔600N/m²(61.2Kg/m²)〕
特殊地域1500タイプ→耐えられる積雪量の目安50cm相当〔1500N/m²(153.0Kg/m²)〕
- 本製品はサイズごとに設置可能な階数が決まっています。下記の表に従って取付けてください。

	1階	2階	3階
3・4尺	○	○	○
5・6尺	○	○	×

- 柱の移動は、当社指定範囲内にしてください。
- 母屋の屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により製品が破損するおそれがあります。
- 風当たりの強いところでは風が抜けなくなりますので、テラスの周囲を囲わないでください。
- 崖っぶりなどの高低差のあるところには設置しないでください。

■躯体への固定

- タッピンネジは柱・間柱・胴差し等の構造材に必ず止めてください。躯体位置が分からない場合および躯体が強度保持できない場合は取付けしないでください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- プラグ類を使用して、モルタル部分だけで固定することは非常に危険ですから絶対に行わないでください。
- タッピンネジの下穴には、指定より太いドリルを使用しないでください。

■部材の固定

- 組立てネジ・ボルトは必ず指定のものを使用してください。また、使用中ゆるまないように締め付けてください。

■施工時の足場について

- 施工時は必ず足場を設け、転落などの危険がないようにしてください。

■基礎について

- 基礎は当社指定寸法以上にしてください。
- 海砂は水洗いしたものを使用してください。アルミが腐食するおそれがあります。
- 施工前に調査を行ない、地下埋設物(給排水管など)に影響をおよぼさないようにしてください。
- 寒冷地では凍上線より下まで柱を埋め込んでください。凍上により浮上するおそれがあります。
- 柱を基礎で固定する場合には水抜きできるよう、柱基礎には必ずぐり石を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴(φ6)をあけてください。柱内部にたまったの水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
- 養生期間は十分(4日～1週間以上)にとり、その間は、重たいものをのせたり、振動を与えたりしないよう指示してください。

■パネルについて

- 屋根パネルは当社指定品をご使用ください。
- 屋根の取付けは垂木へののみこみが左右均等になるようにしてください。パネルが強風により、飛散するおそれがあります。
- 後付けビートのつめは、垂木の凹部に必ず引っかかるように取付けてください。強風等により飛散するおそれがあります。

■施工上について

- 施工は専門業者が行なってください。
- みだりに改造・変更をしないでください。
- 前枠の内観右側にブランドラベル(商品名シール)が張ってあります。間口切り詰めをする際は、ブランドラベル(商品名シール)が残るように切詰めてください。
- 当社指定の付属品以外は取付けしないでください。

※製品腐食のおそれがありますので下記事項を厳守してください。

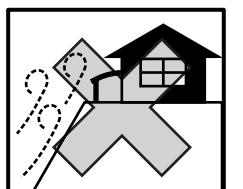
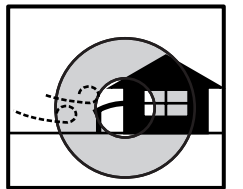
■絶縁処理

- アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは、絶縁処理をしてください。

※水漏れのおそれがありますので下記事項を厳守してください。

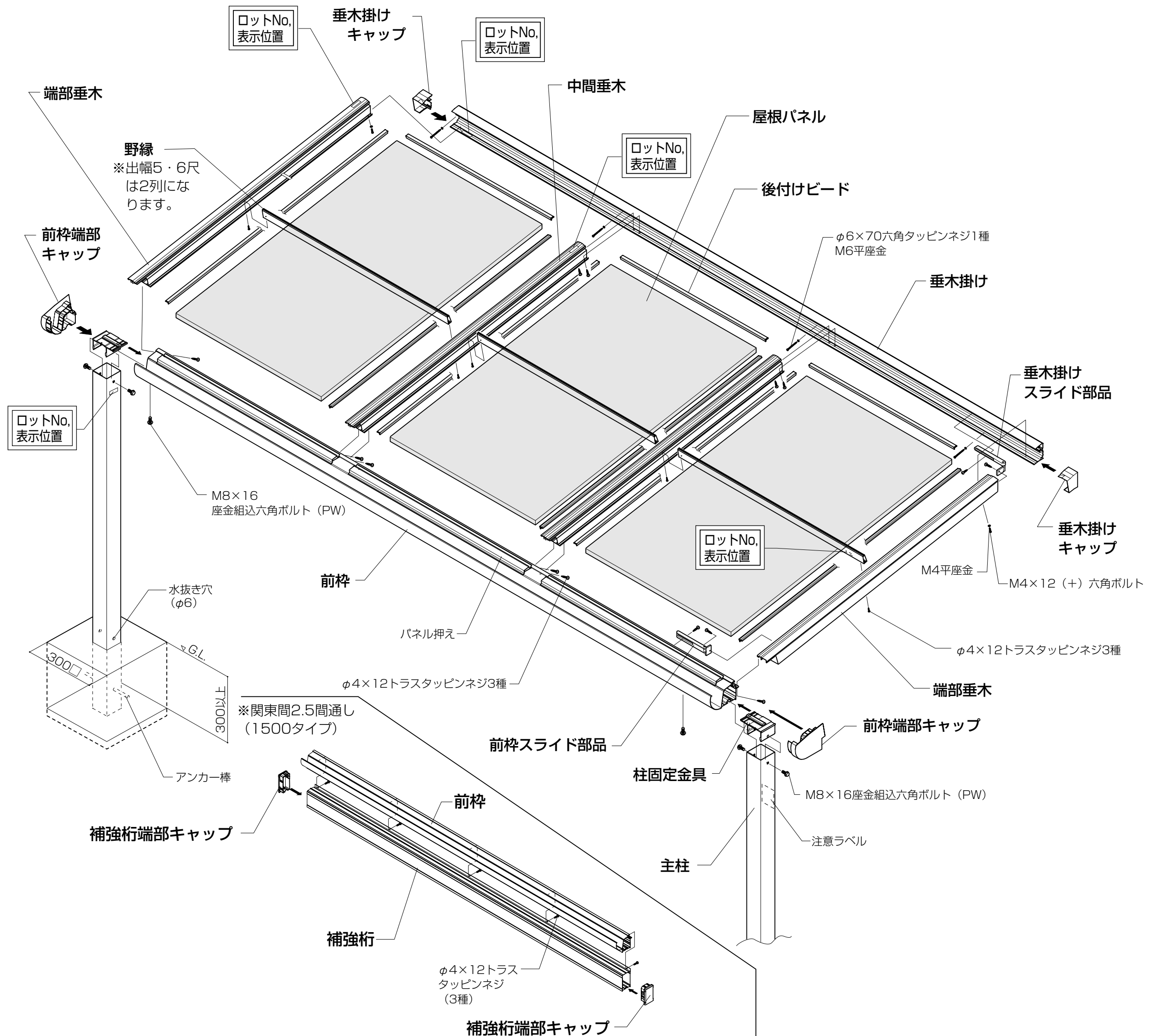
■シーリングについて

- シーリングは指定個所に必ず行なってください。
- 外壁の上から部材を取付ける場合は、シーリング材を下穴に充てんしてからネジ止めしてください。



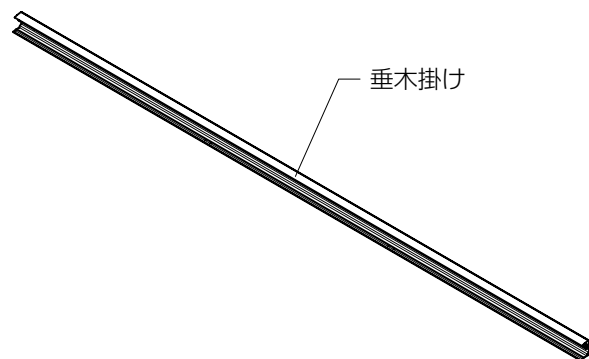
■施工上のお願い

- 水平・垂直は、水準器などで正確に出してください。



■取付け手順

1 垂木掛けの固定



ポイント

- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

■取付け詳細

1 垂木掛けの固定

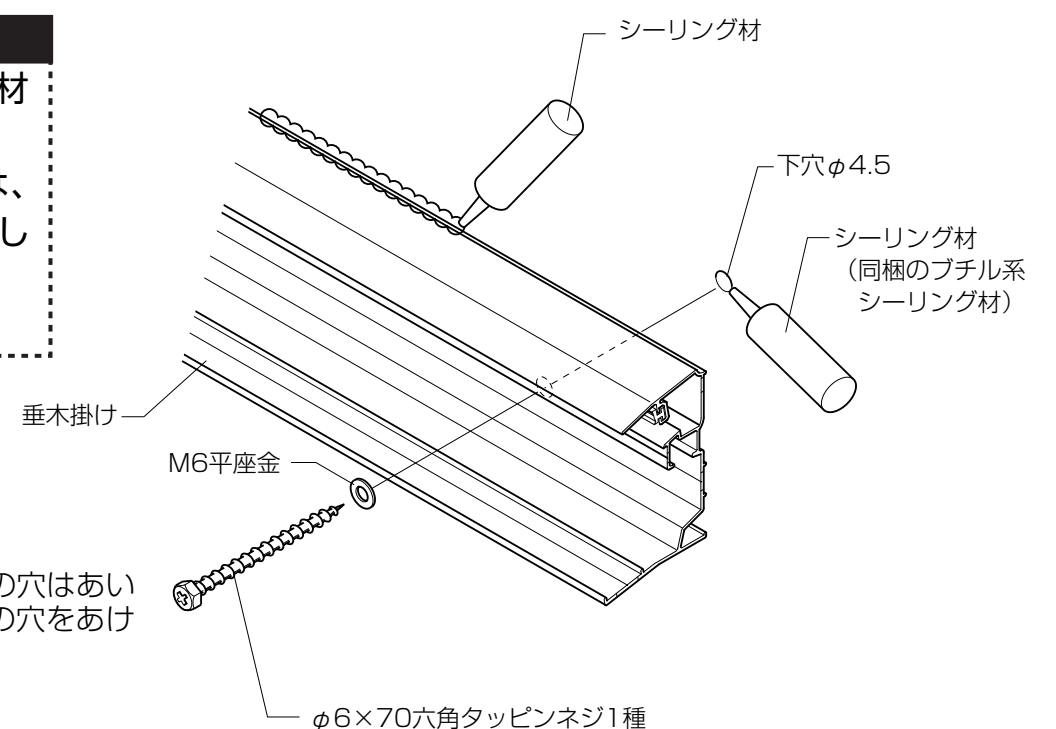
①垂木掛けを躯体に取付ける際、必ず水準器で水平を出してください。

▲注意

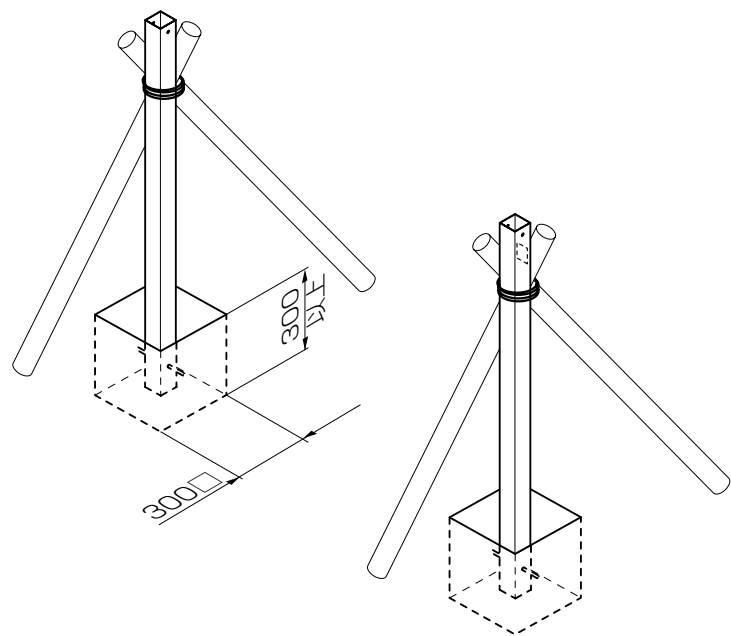
- 垂木掛けは必ず躯体の柱・間柱などの構造材に取付けてください。
- 躯体が経年変化などで損傷が著しい場合は、施主様と打ち合わせをし、必要に応じて補強してから取付けてください。
- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

【関西間・九州四国間の場合】

関西間・九州四国間の場合、垂木掛けに躯体取付け用の穴はあいていません。柱および間柱の位置に合わせて、φ6.5の穴をあけてください。



2 柱の取付け



2 柱の位置決め

<柱を基礎で固定する場合>

※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。

- ①柱埋込み位置を出し、基礎穴を掘ります。柱の位置は右図と10・11Pの納まり図を参考に決めてください。
- ②柱が倒れないように仮固定してください。

▲ 注意

- 桁仕様で施工する場合は、桁の分だけ柱を深く埋め込むか、柱を切断してください。

<柱を造り付けバルコニーに固定する場合>

※注意ラベルが必ず内側にくるように設置してください。

- ①柱の下部に柱キャップを図のように取付けてください。
- ②部品の取付け
躯体に柱壁付用固定部品を取付けます。

▲ 注意

- 柱壁付用固定部品は必ず、柱・間柱などの構造材に固定してください。
- 桁仕様で施工する場合は、桁の分だけ柱を深く埋め込むか、柱を切断してください。

躯体位置が分からない場合および躯体が強度保持できない場合は取付けしないでください。

※固定部品の間は600mm以上あけてください。

③柱の仮止め（垂直出し）

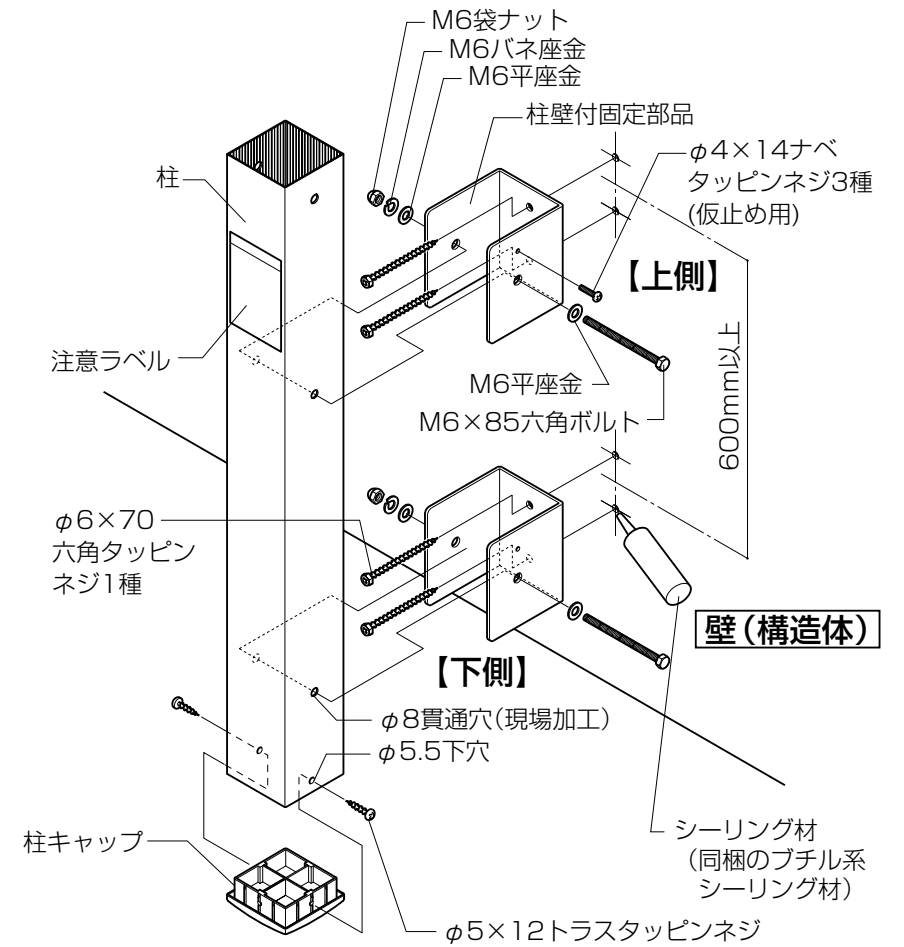
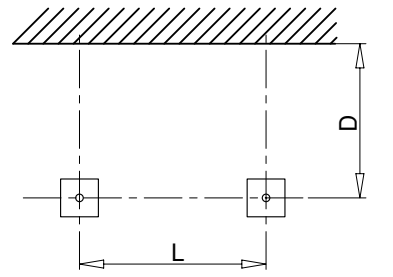
- 1.柱に上側の部品固定穴をφ8（貫通穴）で加工してください。
- 2.柱を上側の部品に取付け、垂直を出して、ネジで仮止めます。

④柱の固定

- 1.下側の部品にあいている穴に合わせ、φ8（貫通穴）をあけます。
- 2.ボルトで柱を固定します。

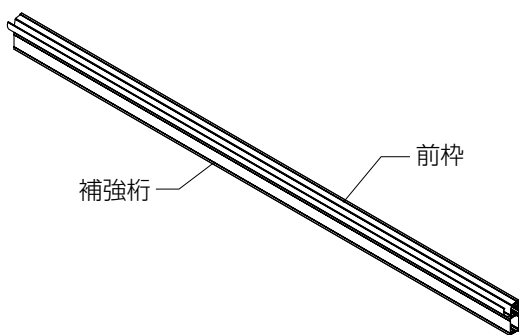
▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

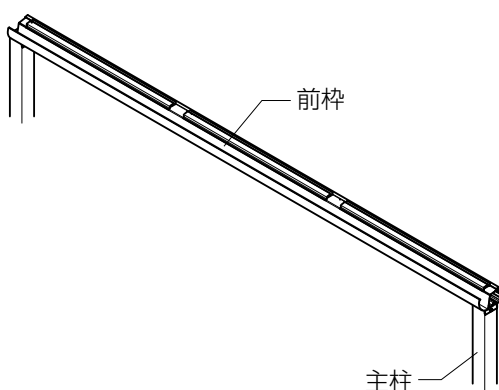


3 柱-前枠（補強桁）の取付け

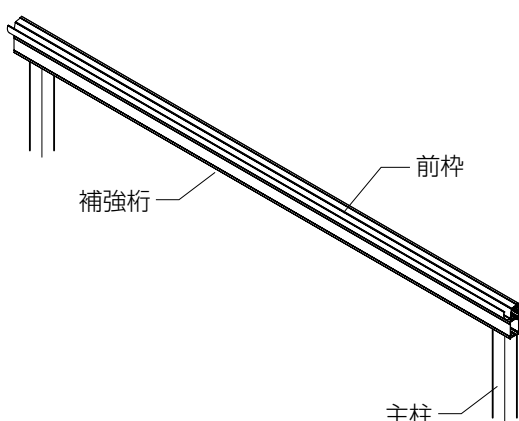
- 前枠-補強桁の取付け
関東間2.5間通し（1500タイプ）



- ①柱固定金具と前枠（補強桁）の固定
- ②柱固定金具と柱の固定



- 柱-前枠（補強桁）の取付け



3 柱-前枠（補強桁）の取付け

<前枠-補強桁の取付け（関東間2.5間通し（1500タイプ））>

- ①前枠にφ3.3の写し穴をあけた後、前枠と補強桁を取付けてください。
- ②図のように前枠に雨樋部品を取付けてください。
- ③柱固定金具を柱固定裏板に引っ掛けたまま前枠（補強桁）の溝に挿入し、ボルトで仮固定してください。
- ④の端部垂木を取付けた後、直角を出して固定してください。

※前枠（補強桁）取付けの際は、前枠（補強桁）が柱から落ちないようにロープで仮止めするなど十分にご注意ください。

※柱固定裏板は柱固定金具にテープ止めしています。

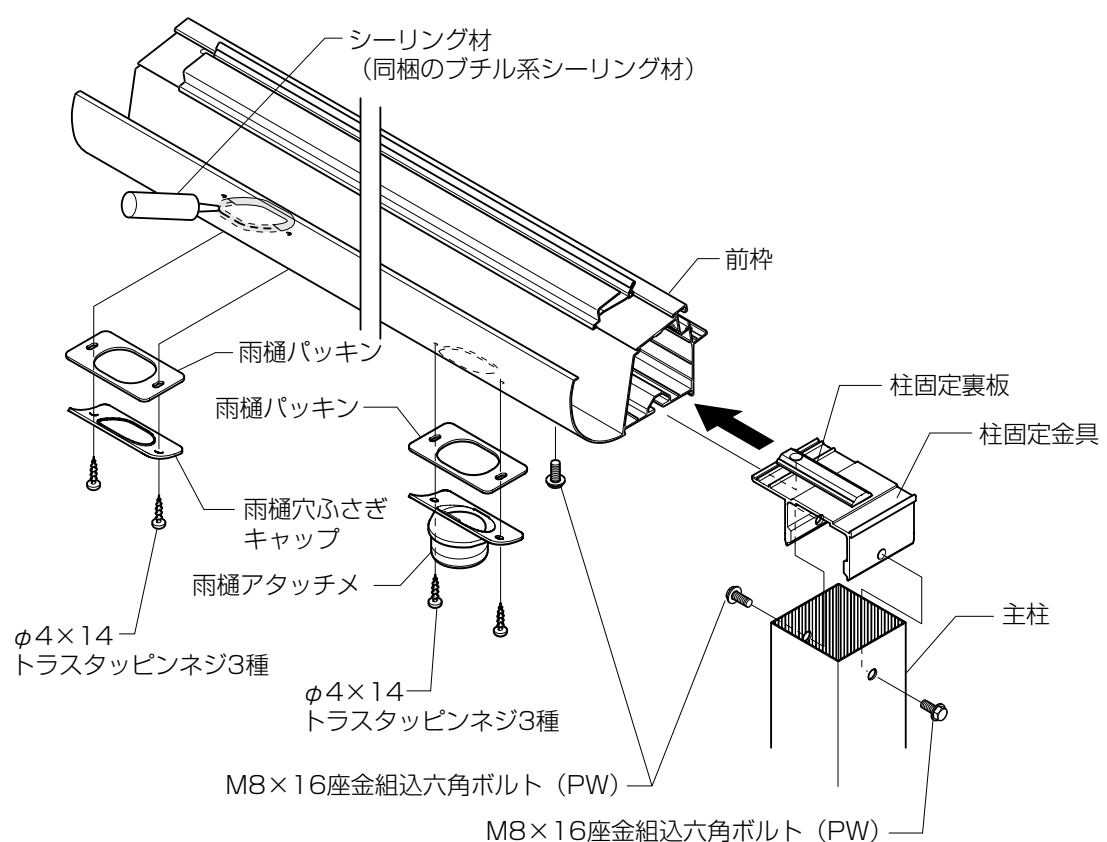
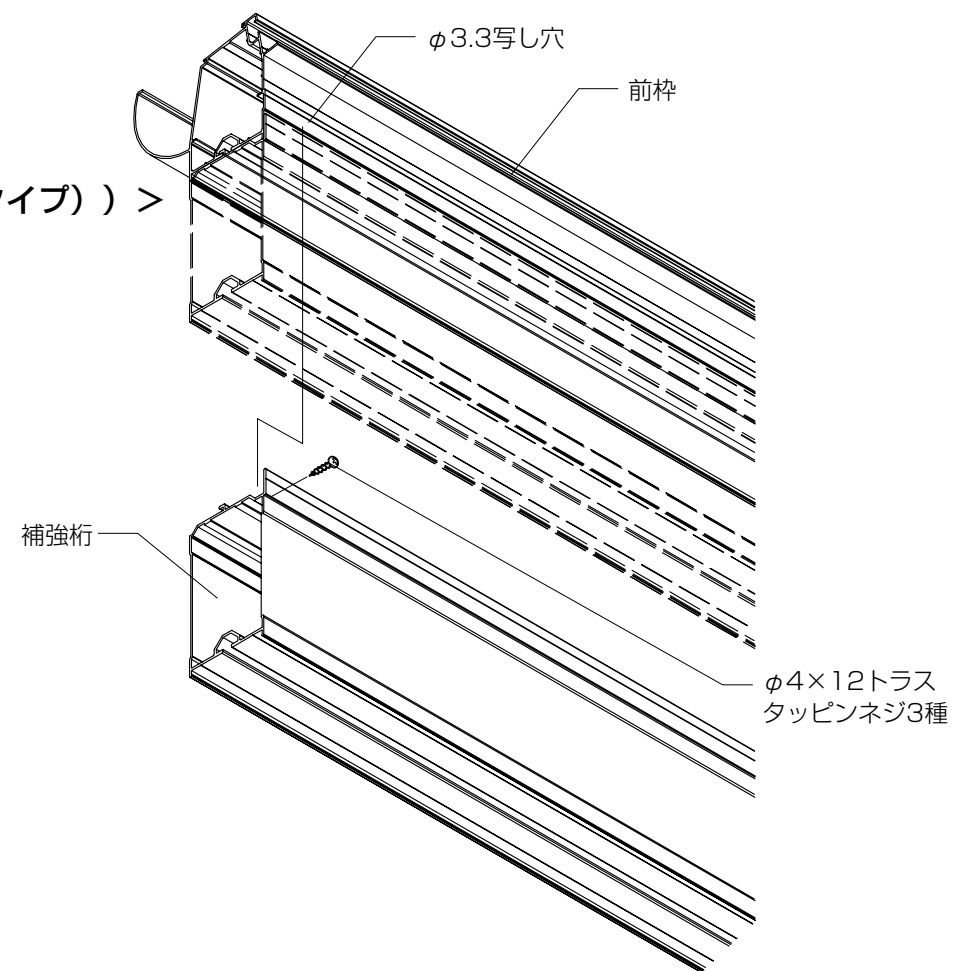
- ④柱固定金具を柱に差込み、固定してください。

▲ 注意

- 前枠の内観右側にブランドラベル（商品名シール）が張ってあります。間口切り詰めをする際には、ブランドラベル（商品名シール）が残るように切詰めてください。

▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。



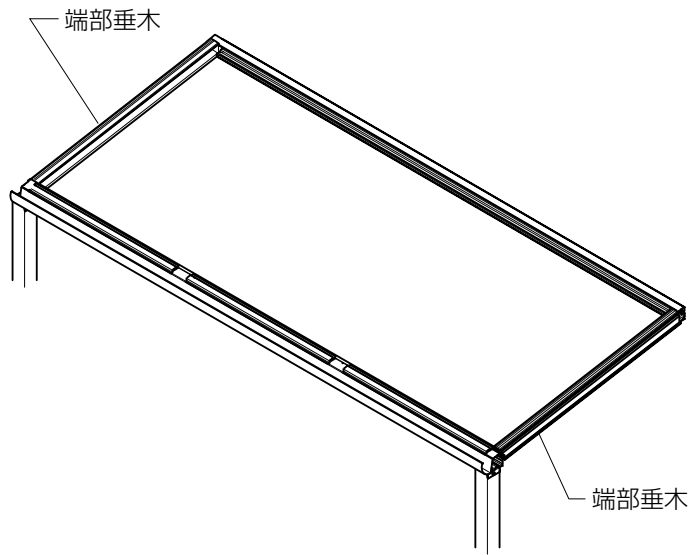
4 端部垂木の取付け

- ①端部垂木の取付け
- ②スライド部品の取付け

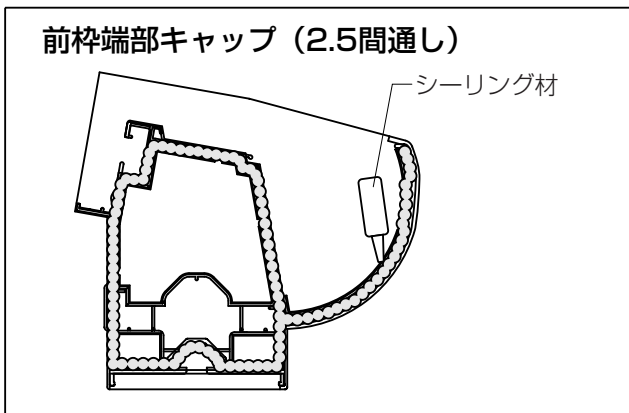
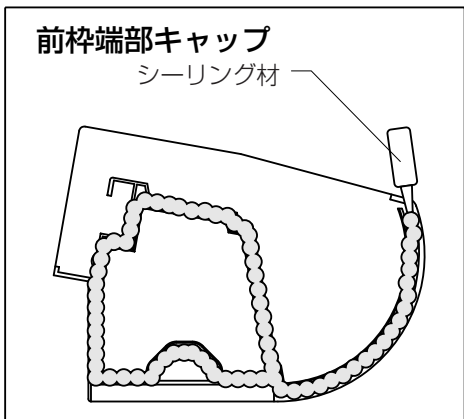
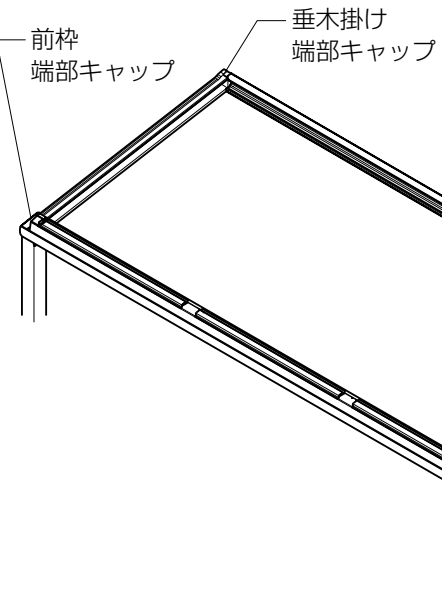
ポイント

●シリコンシーリングを行う場合、
アクリル板及びポリカーボネート
板のひび割れなどが考えられます
ので、当社指定のアルコール系シー
リング材を使用してください。

- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

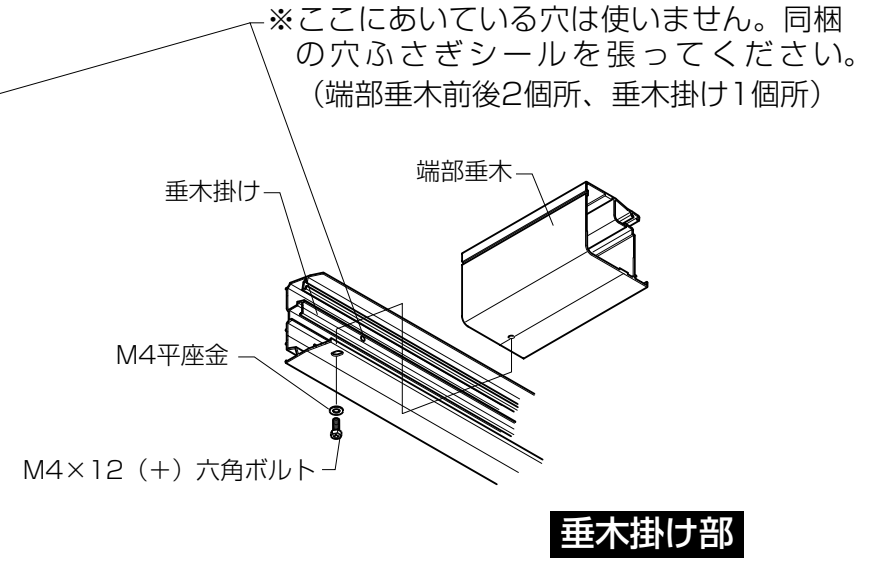
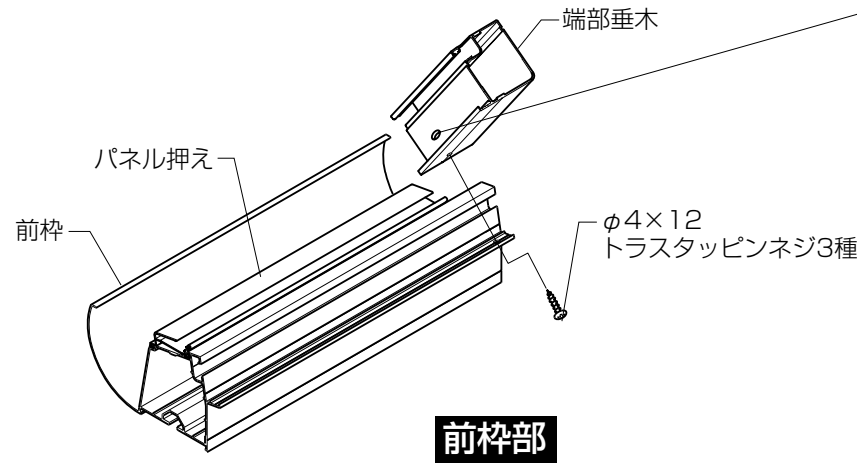


5 キャップの取付け①

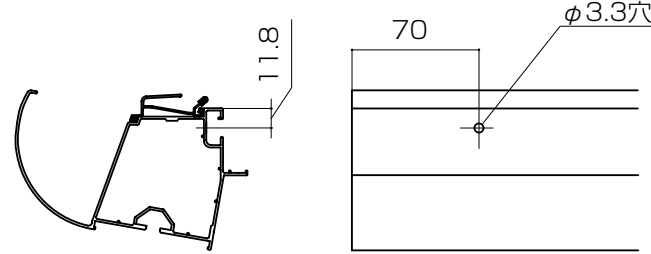


4 端部垂木の取付け

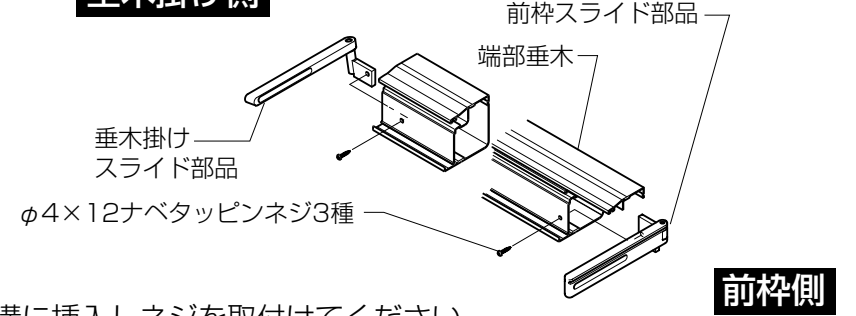
- ※現場で下止めする方向を決めてください。
①図のように端部垂木を前枠・垂木掛けに取付けてください。



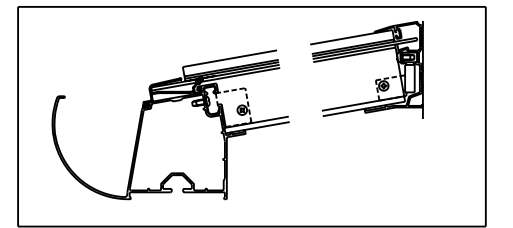
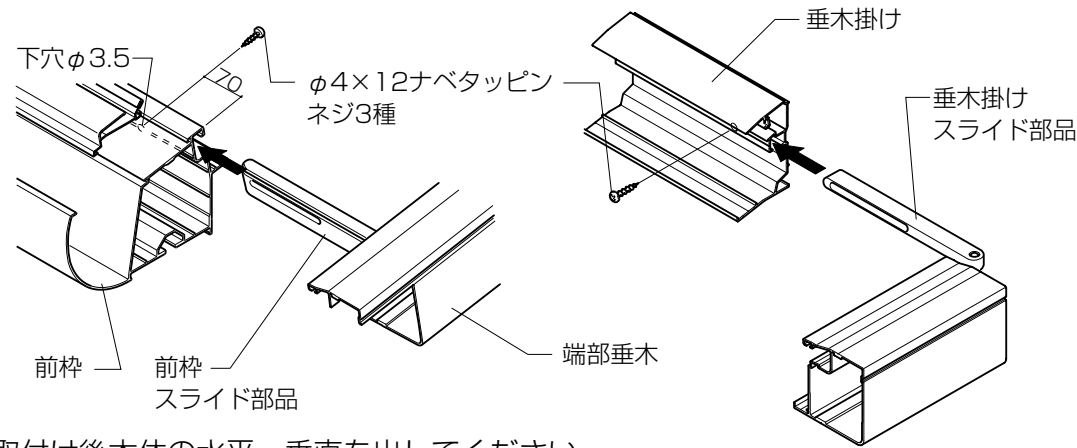
- ②次に、端部垂木を下止めする側の前枠に穴をあけてください。



垂木掛け側



- ④図のようにスライド部品を取付けた端部垂木を前枠、垂木掛けの溝に挿入しネジを取付けてください。



- ⑤取付け後本体の水平、垂直を出してください。

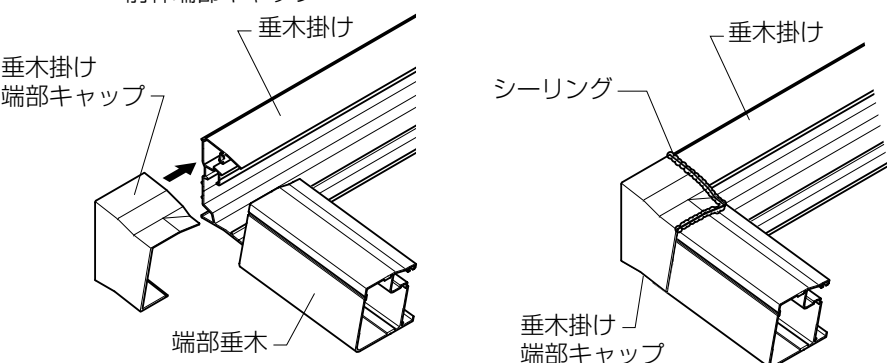
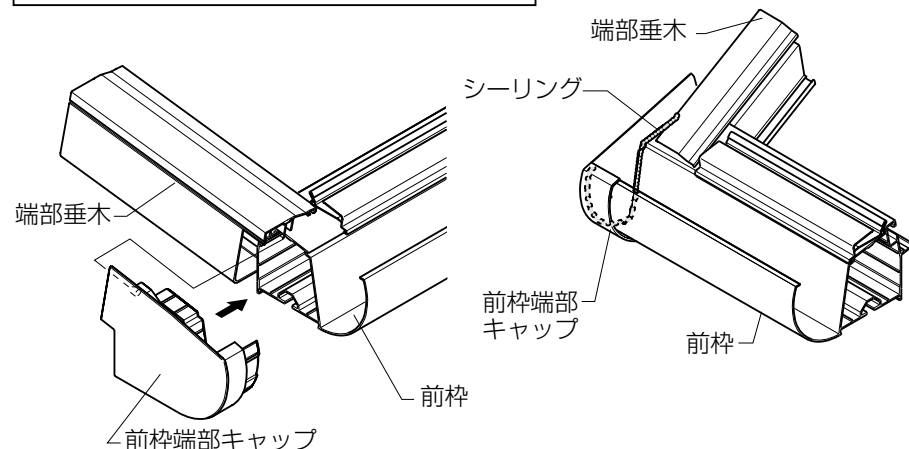
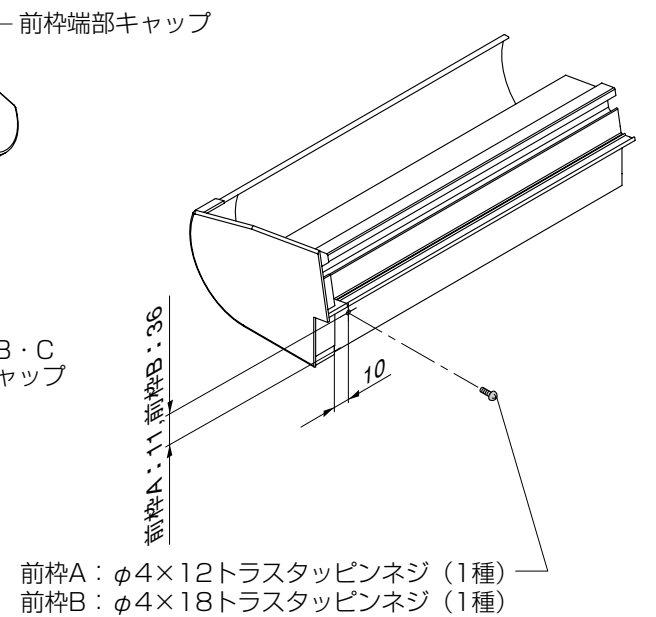
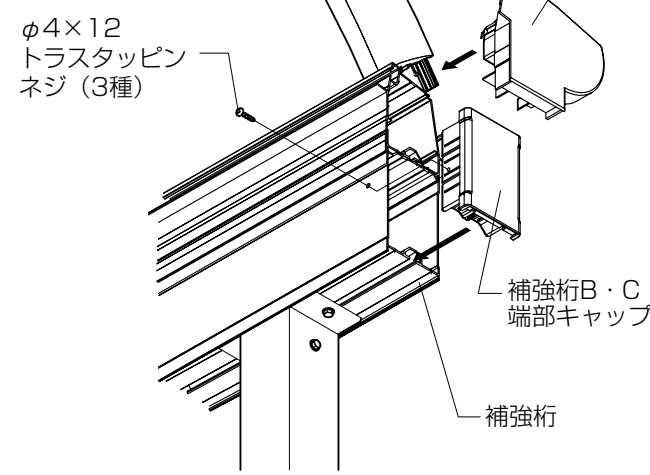
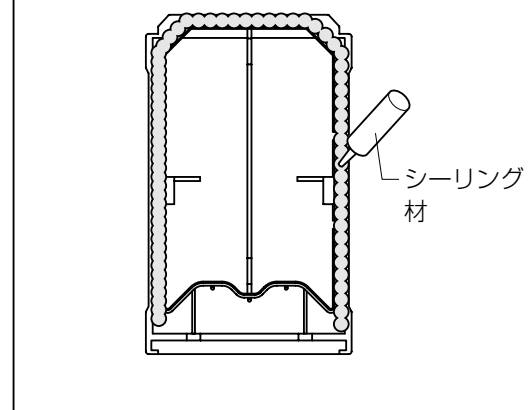
※下止め端部垂木は、前枠、垂木掛けに固定しないでください。

※スライド部品は、前枠側、垂木掛け側に必ず固定してください。片側だけの固定は部品に無理な力がかかり、破損するおそれがあります。

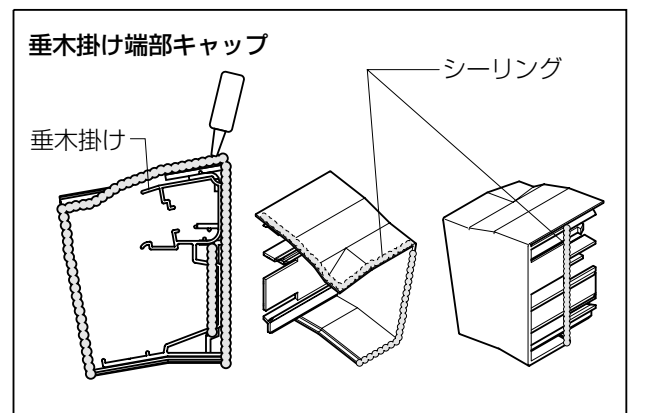
5 キャップの取付け① ※4「端部垂木の取付け」で端部垂木を取り付けた側のみ

- ①補強桁端部キャップにシーリングをした後、補強桁に取付けてください。
※補強桁端部キャップは、前枠端部キャップを取付ける前に取付けてください。
※補強桁B・C端部キャップの場合は、補強桁端部キャップにシーリングをした後、補強桁にネジ止めしてください。
- ②前枠端部キャップに図のようにシーリングした後、前枠に取付け、さらに前枠内部をシーリングしてください。
- ③垂木掛けキャップにシーリングした後、キャップを取付けてください。
- ④図の位置にφ3.5の穴をあけてキャップをネジで固定してください。

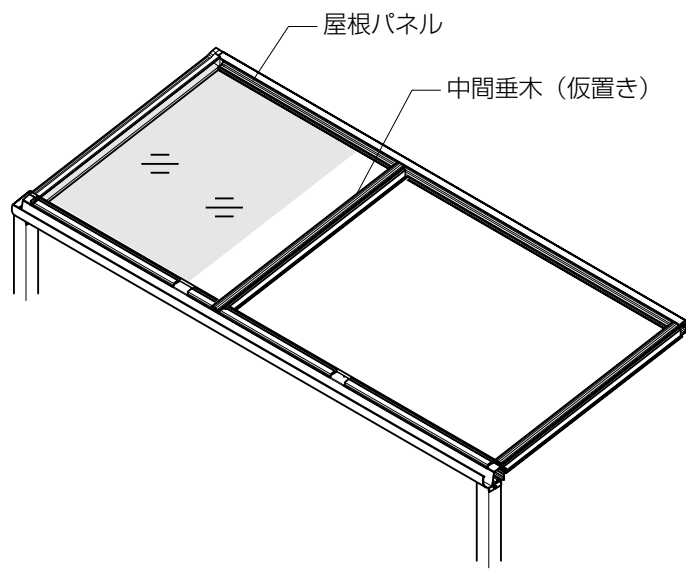
補強桁B・C端部キャップ



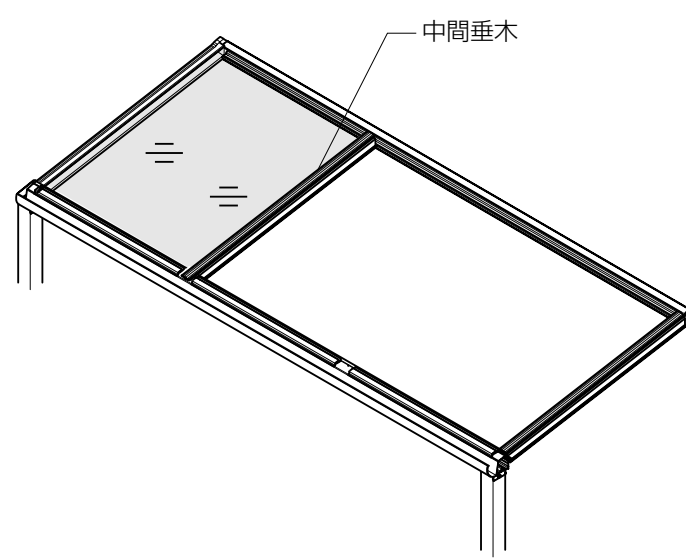
▲ 注意
●指定の個所に必ずシーリングしてください。



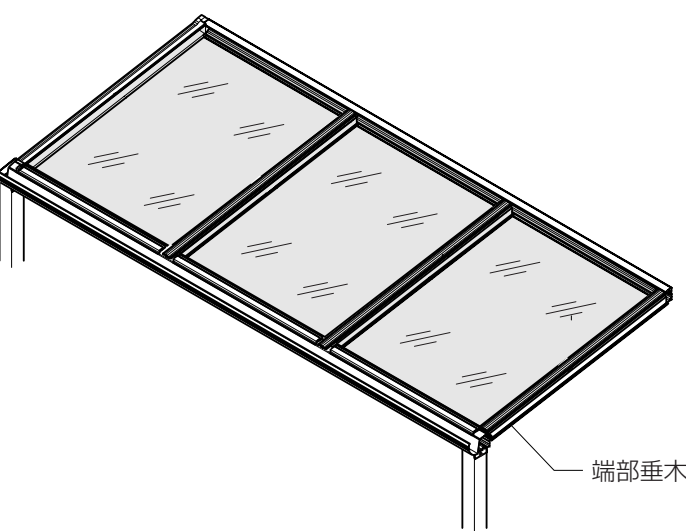
6 屋根パネルの取付け



7 中間垂木の取付け

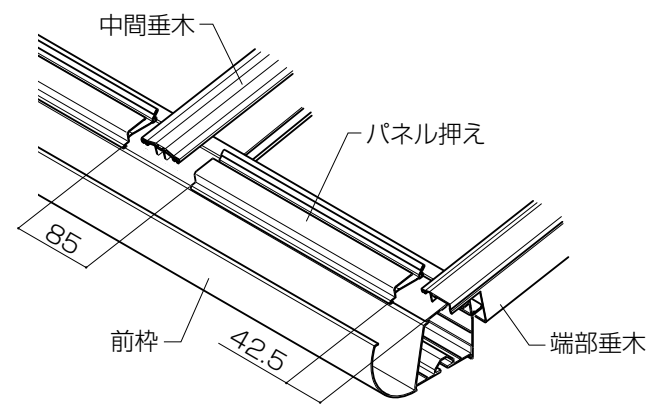


8 端部屋根パネル及び端部垂木の取付け



6 屋根パネルの取付け

- ① 中間垂木をパネルの側面に仮置きしておきます。
- ② パネル押えを図の位置に合わせてください。



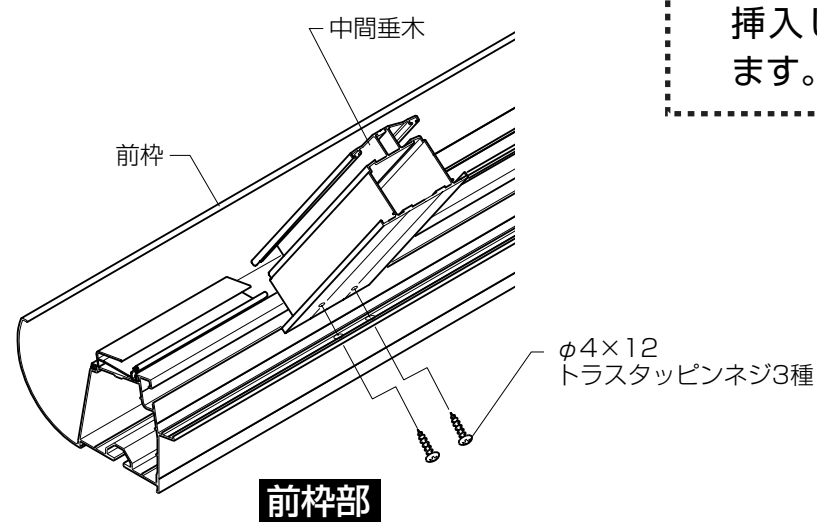
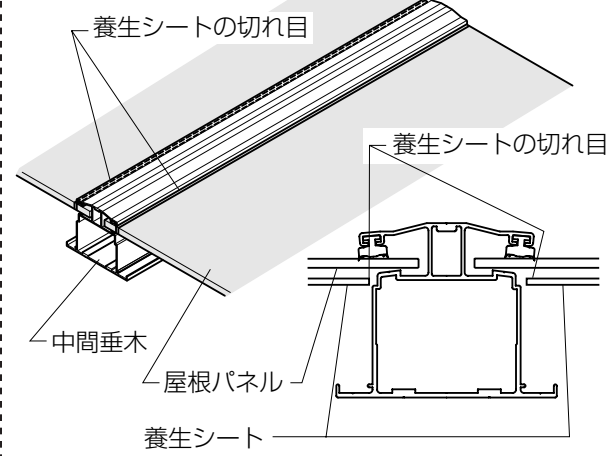
- ③ パネルを図のように前枠と垂木の接合部 (a部) から挿入し、垂木掛け側 (b部) へ順に入れてください。

7 中間垂木の取付け

- ① 仮置きしてあった中間垂木を垂木掛け側から前枠に向かってパネルに挿入しながら取付けます。
- ② 中間垂木を図のように、前枠・垂木掛けに取り付けてください。

注意

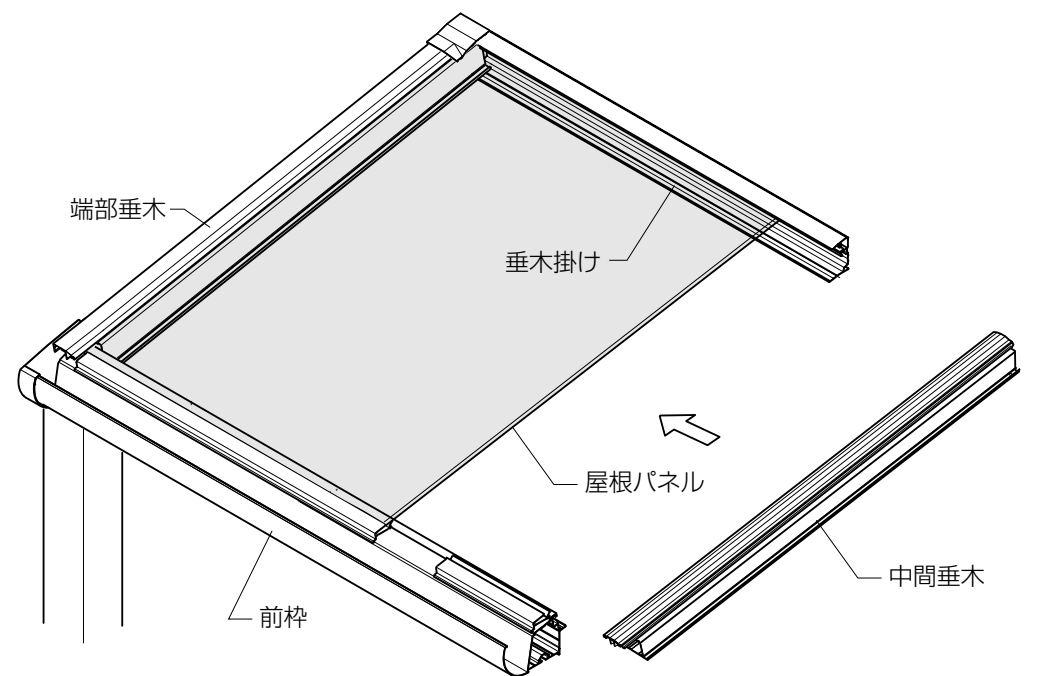
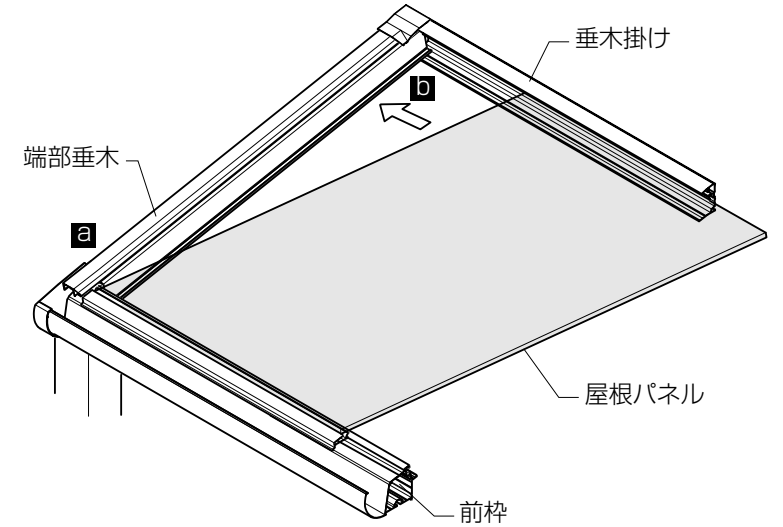
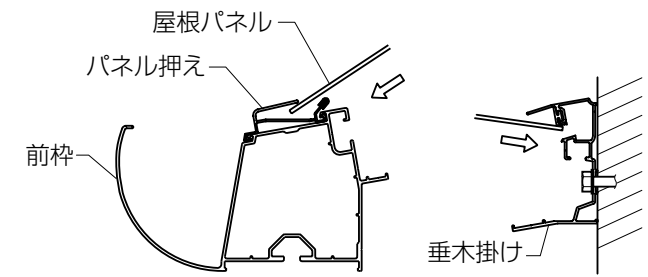
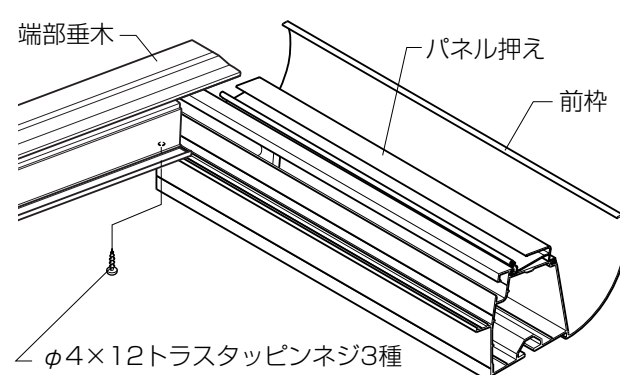
- 屋根の取付けはパネルのみこみが左右均等になるようにしてください。



8 端部屋根パネル及び端部垂木の取付け

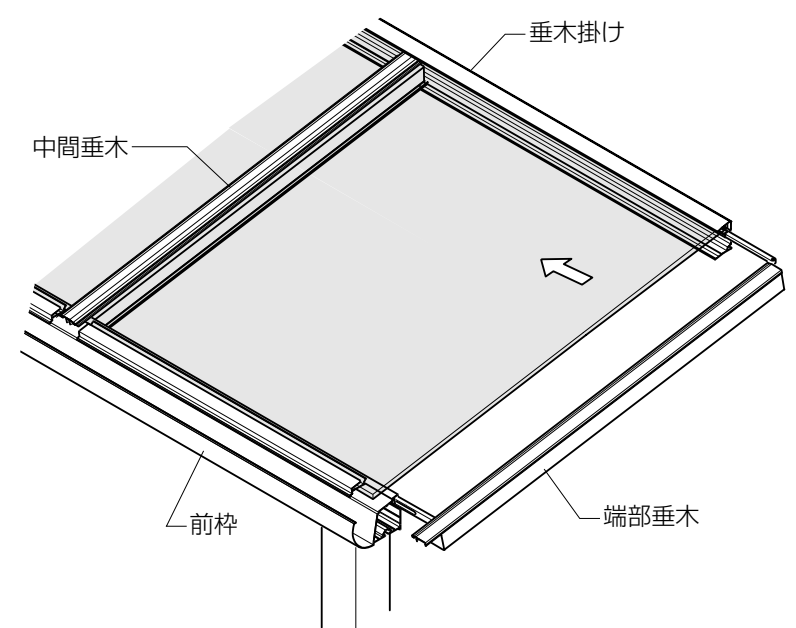
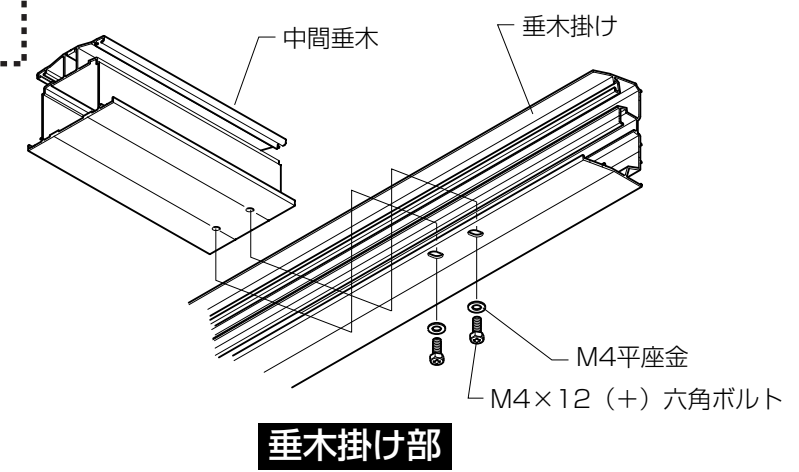
- ① 端部垂木をずらし、屋根パネルをスライドし取り付けた後、図のように端部垂木を取付けてください。
 - ② 取付け後、垂木掛けに取り付けたスライド部品用のネジを外し、穴ふさぎシールを貼ってください。
 - ③ 端部垂木を取付け後、垂木掛け、垂木に後付けビードを取付けてから野縁を取付けてください。
- ※ 端部垂木をスライドする際は、無理な力をかけないでください。部品が破損するおそれがあります。

前枠部

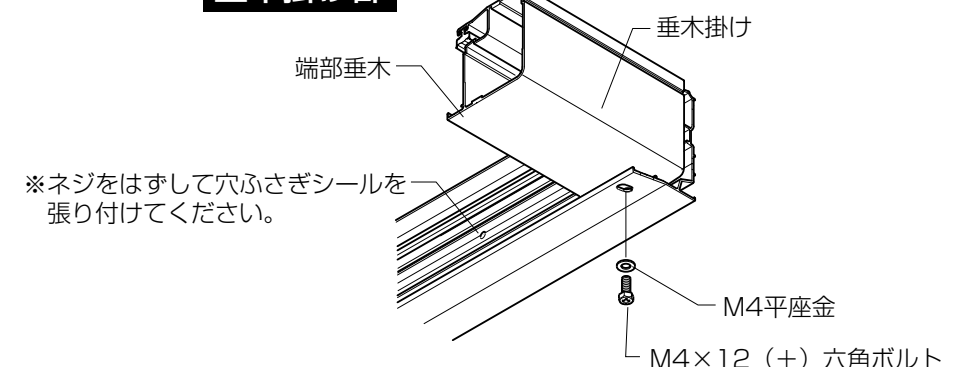


ポイント

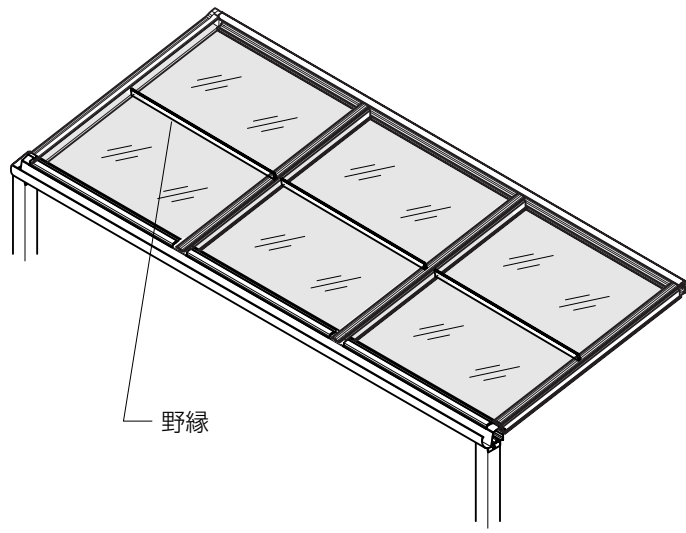
- 前枠側の中間垂木取付けねじを仮止め状態にしておくと、次のパネルが挿入しやすくなります。



垂木掛け部

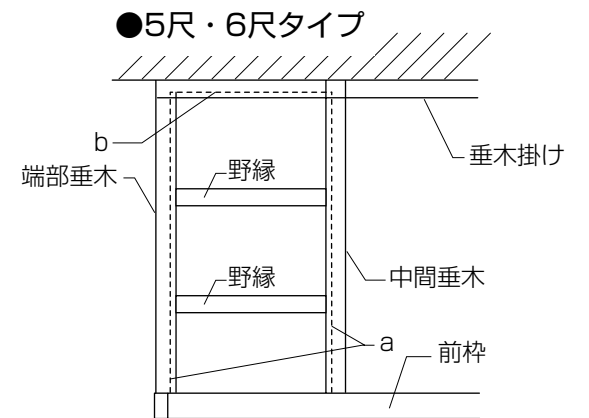
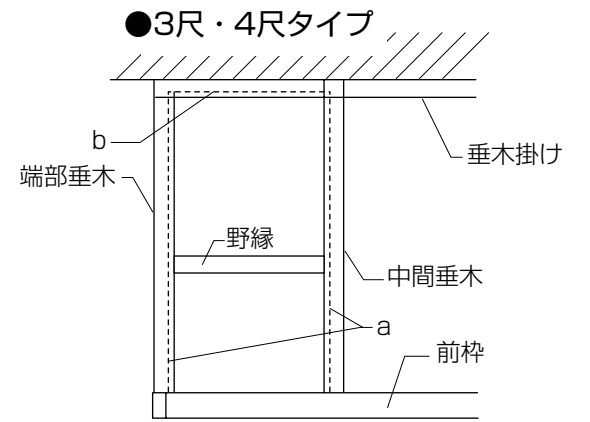
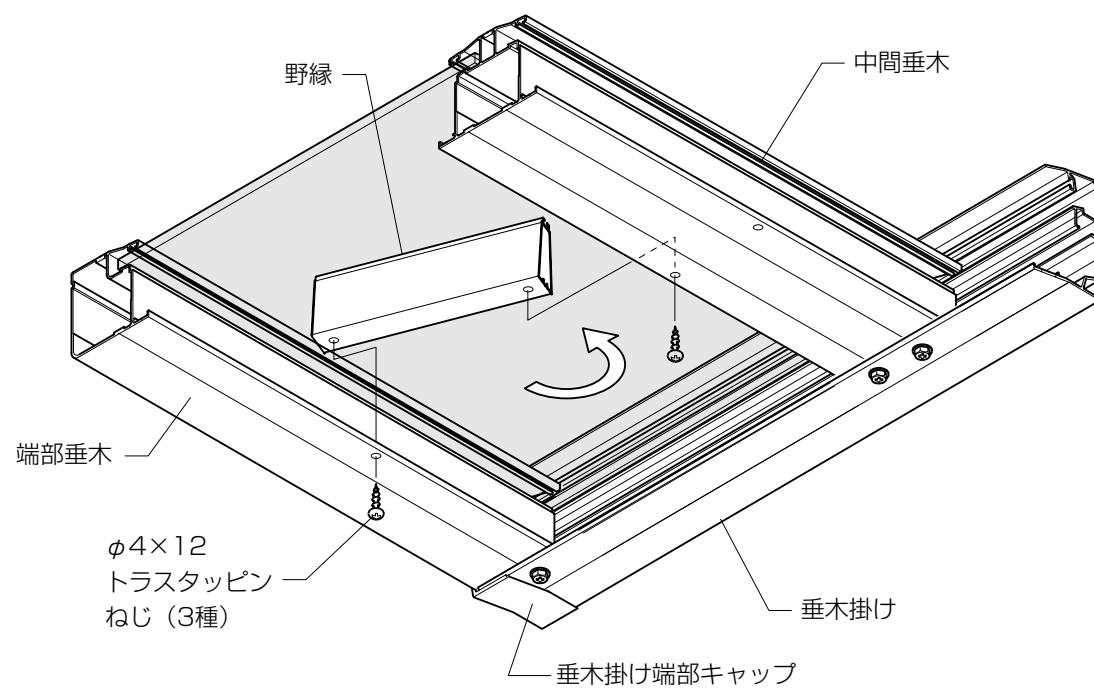


9 野縁の取付け



9 野縁・後付けビートの取付け

- ① 垂木掛け、垂木に後付けビートを取付けてください。
- ② 野縁を屋根パネルと垂木のフィンとの間で、回転させてセットし、ネジ止めしてください。

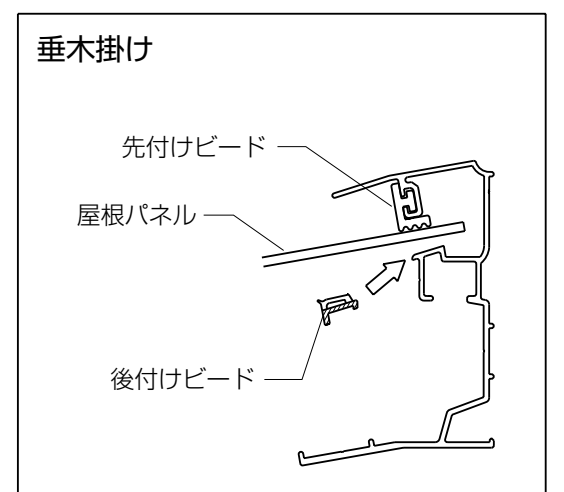
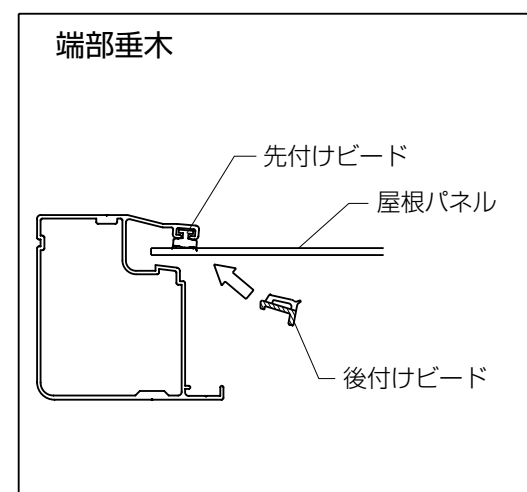
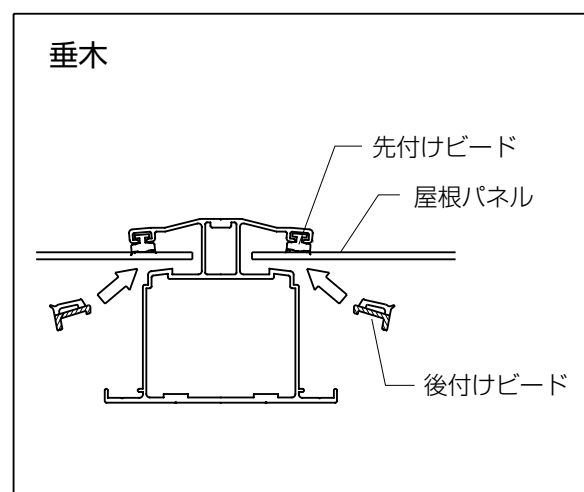


垂木側

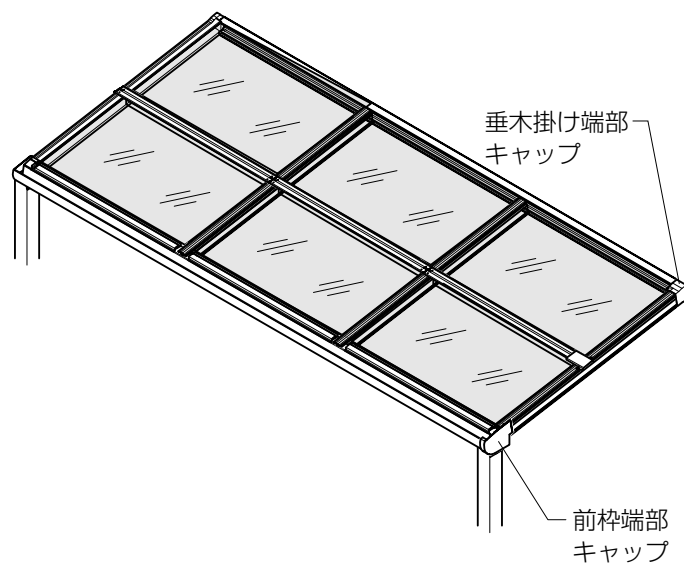
タイプ	記号	3R	4R	5R	6R
Fタイプ	a	850	1155	1459	1764

垂木掛け側

タイプ	記号	関東間	関西間・九州四国間
共通	b	895	995

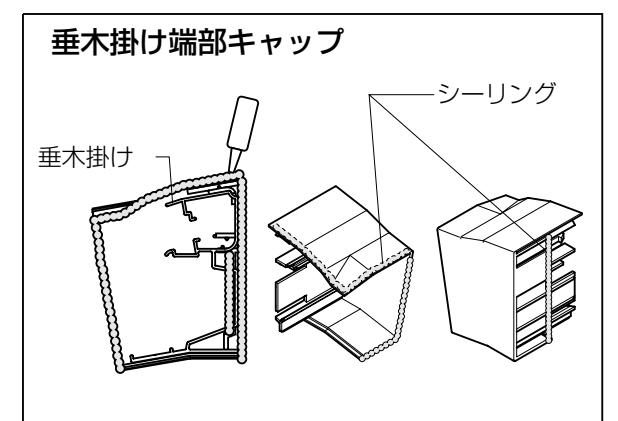
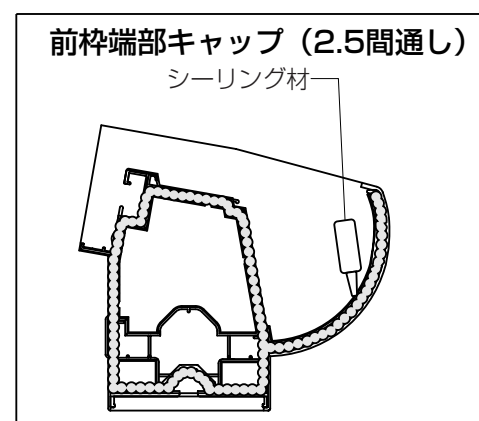
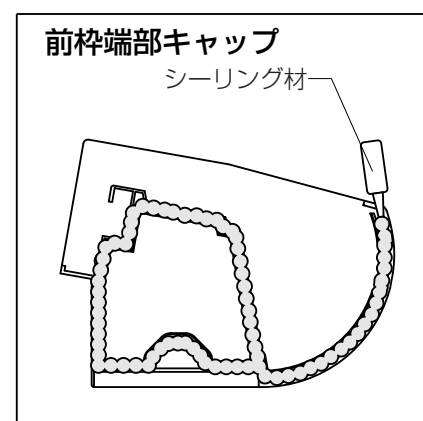


10 キャップの取付け②



10 キャップの取付け②

- ① 補強桁端部キャップにシーリングをした後、補強桁に取付けてください。
※補強桁B・C端部キャップの場合は、補強桁端部キャップにシーリングした後、補強桁にネジ止めしてください。
- ② 前枠端部キャップにシーリングした後、キャップを取付けてください。
※補強桁端部キャップは、前枠端部キャップを取付ける前に取付けてください。
- ③ 垂木掛け端部キャップ (下止め用) にシーリングした後、キャップを取付けてください。

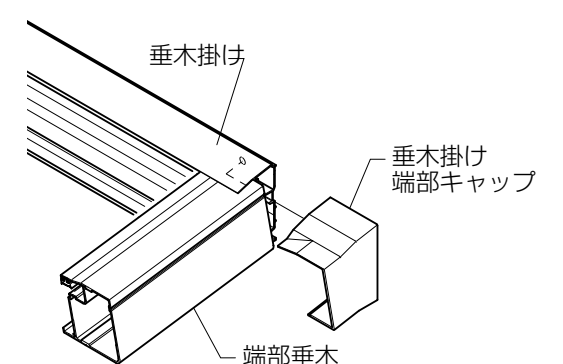
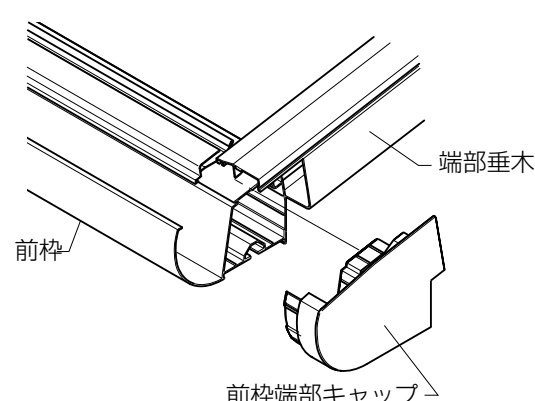


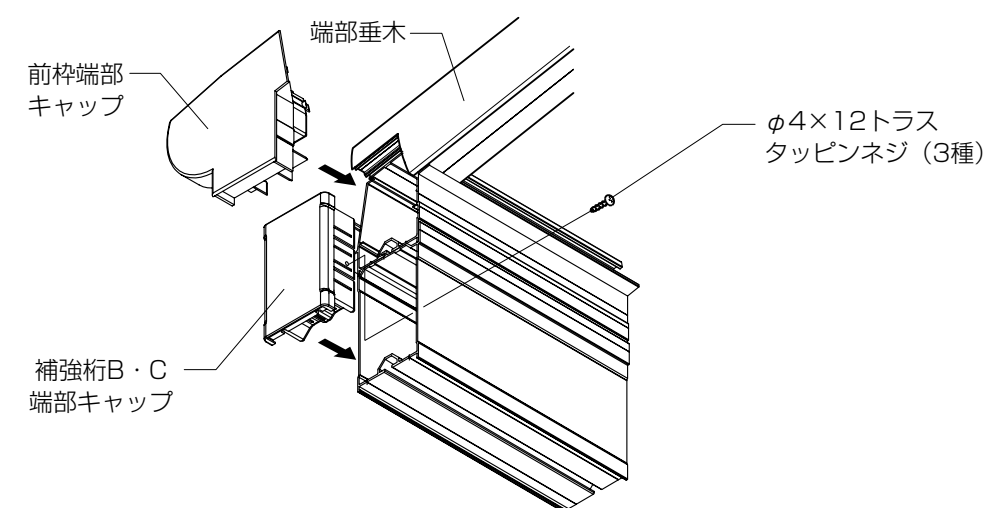
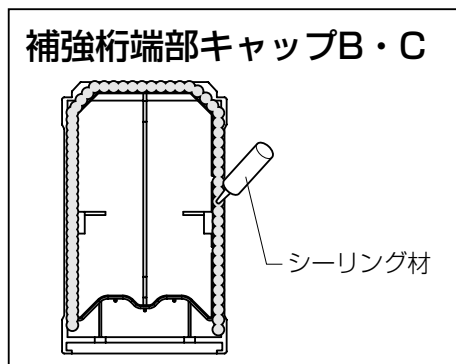
ポイント

- シリコンシーリングを行う場合、アクリル板及びポリカーボネート板のひび割れなどが考えられますので、当社指定のアルコール系シーリング材を使用してください。
- ・ 信越化学工業 シーラント72
- ・ 東芝シリコン トスシール380
- ・ トーレシリコン SE960

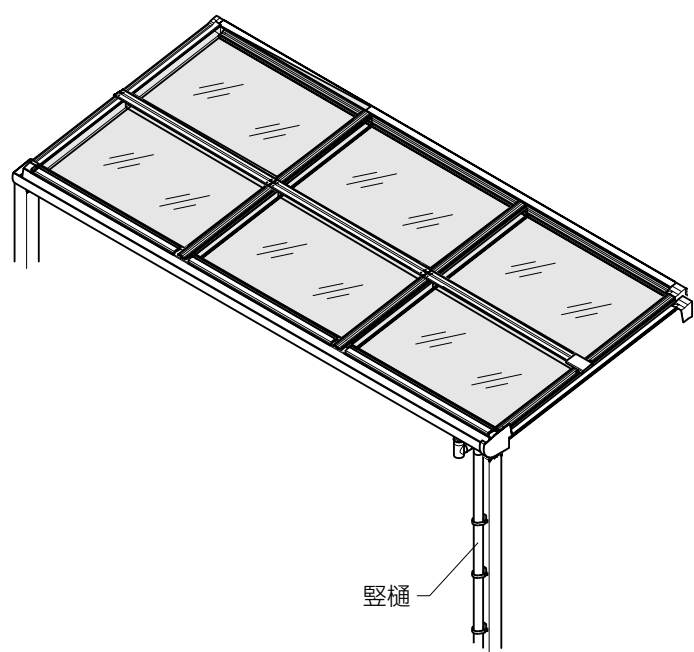
注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。



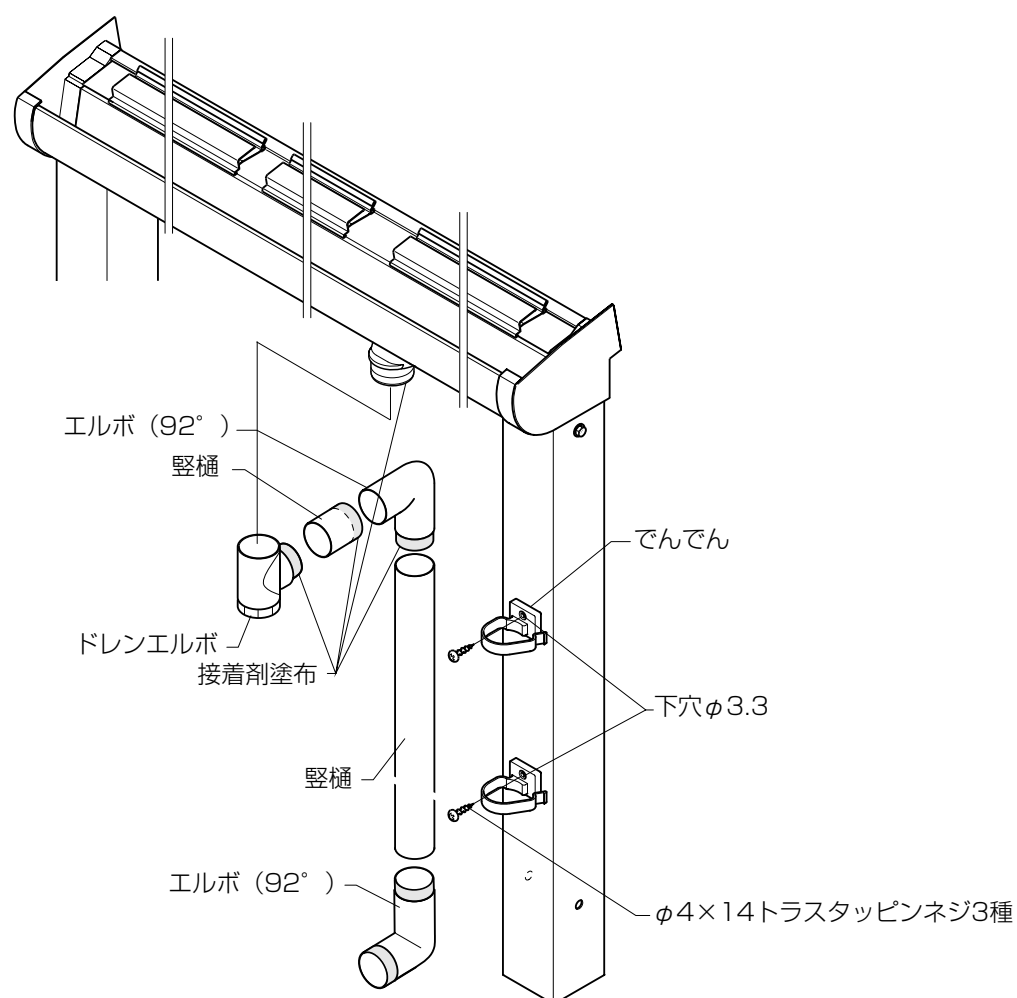


11 雨樋の取付け

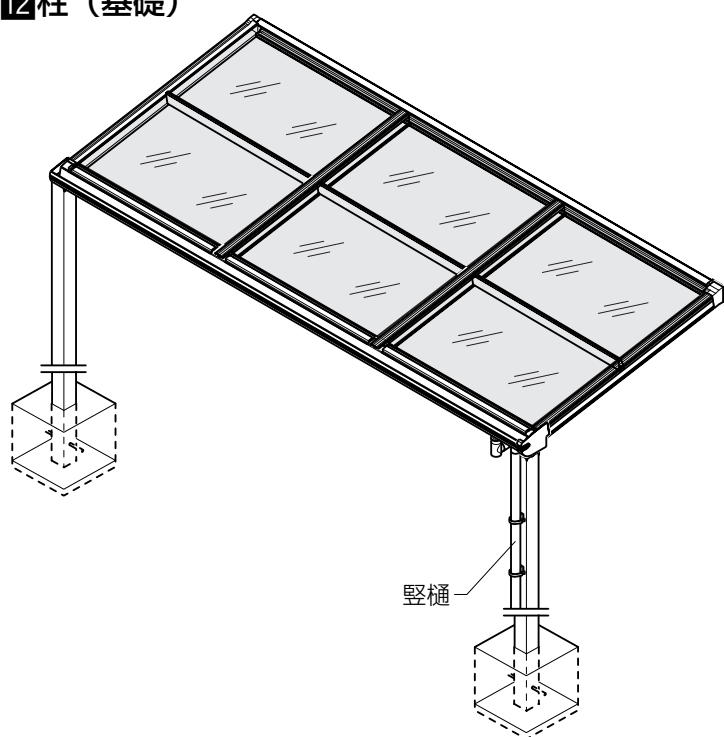


11 雨樋の取付け

①図のように取付けてください。



12 柱 (基礎)

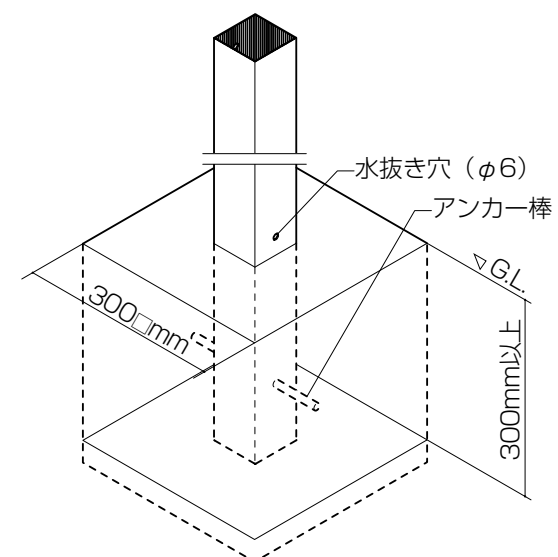


12 柱 (基礎) (柱を基礎で固定する場合)

- ①図の寸法で、柱埋込み穴をコンクリート (またはモルタル) で埋めてください。
- ②柱と基礎の付け根に水抜き穴 (φ6) をあけてください。

▲ 注意

- 地下埋設物 (給水管など) に影響をおよぼさないようにしてください。
- コンクリート (またはモルタル) に急結材は絶対に使用しないでください。
- 海砂はアルミを腐食させるおそれがありますので、水洗いしたものをご使用ください。

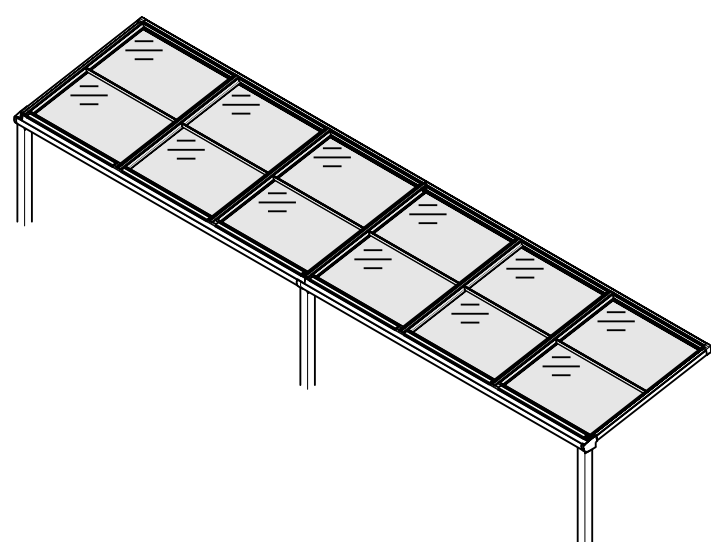


■ 連棟タイプの場合 1

※連棟時の間口部材 (前枠・垂木掛け) の切り詰めは不要です。

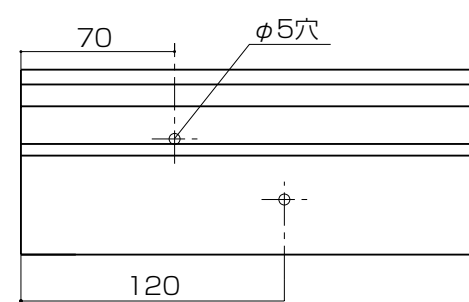
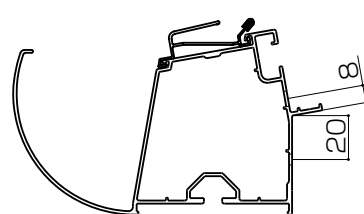
1 前枠の加工

- 2 垂木掛けの取付け**...
- ①前枠スリーブの取付け
 - ②前枠ジョイントカバーの取付け



1 前枠の加工

①前枠の連結する側の端部に図のようにφ5の穴をあけてください。



2 垂木掛けの取付け

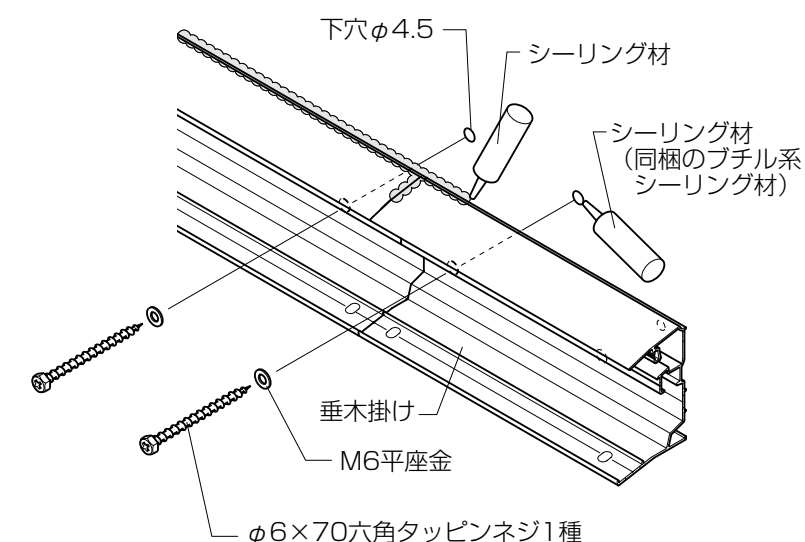
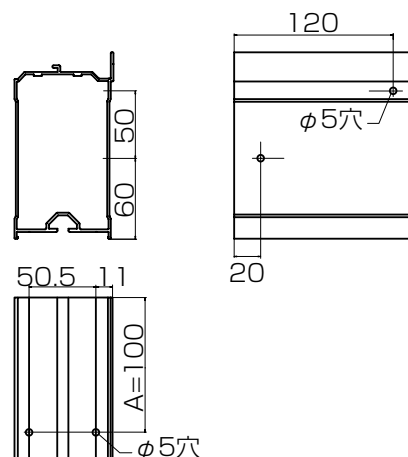
①垂木掛けの躯体取付け穴 (φ6.5) を柱や間柱など躯体構造位置に合わせてあけ直した後取付けてください。

※元のあいていた穴には、穴ふさぎシールを使ってふさいでください。

▲ 注意

- 指定の個所に必ずシーリングしてください。

● 補強桁Bの加工



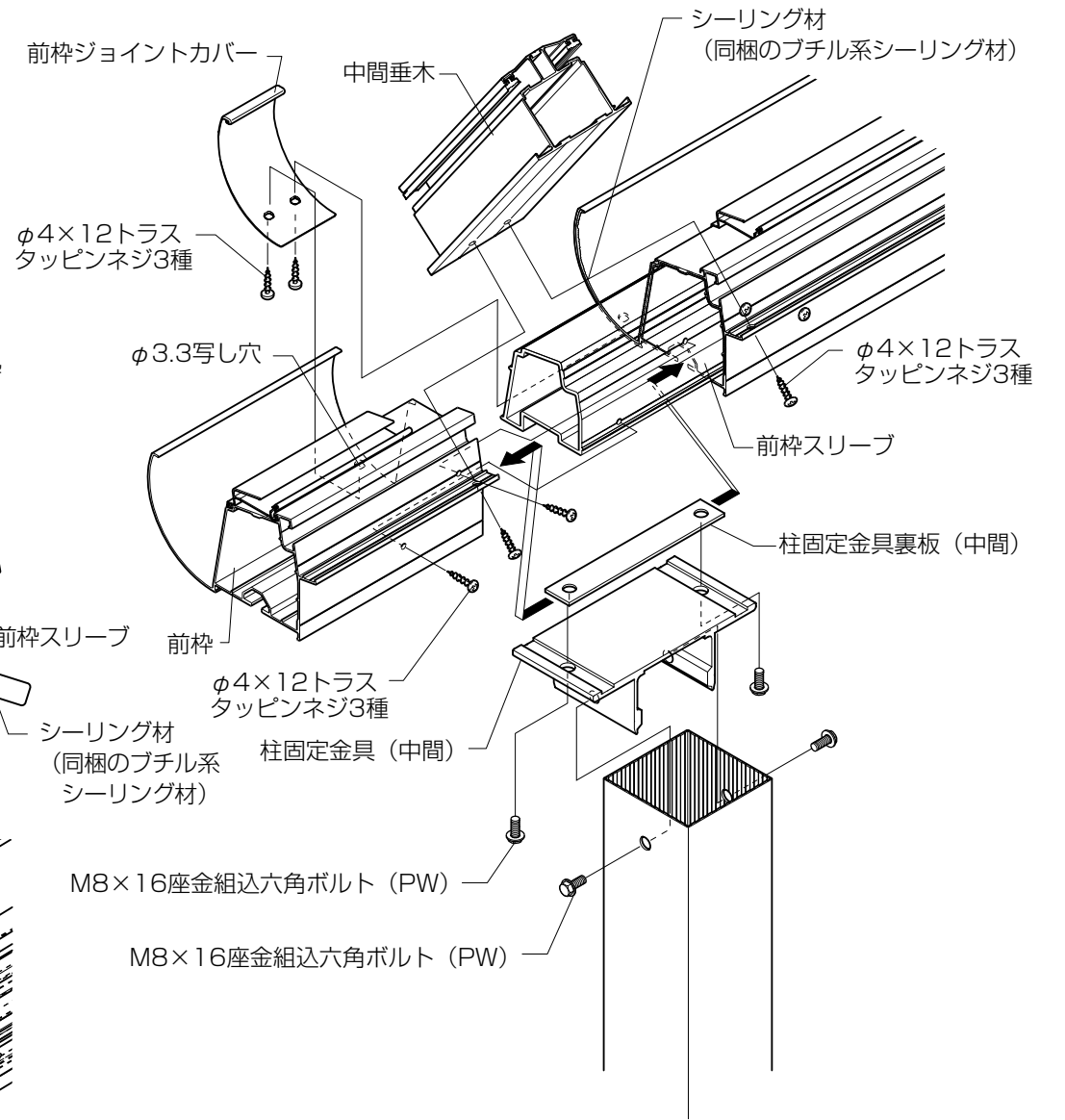
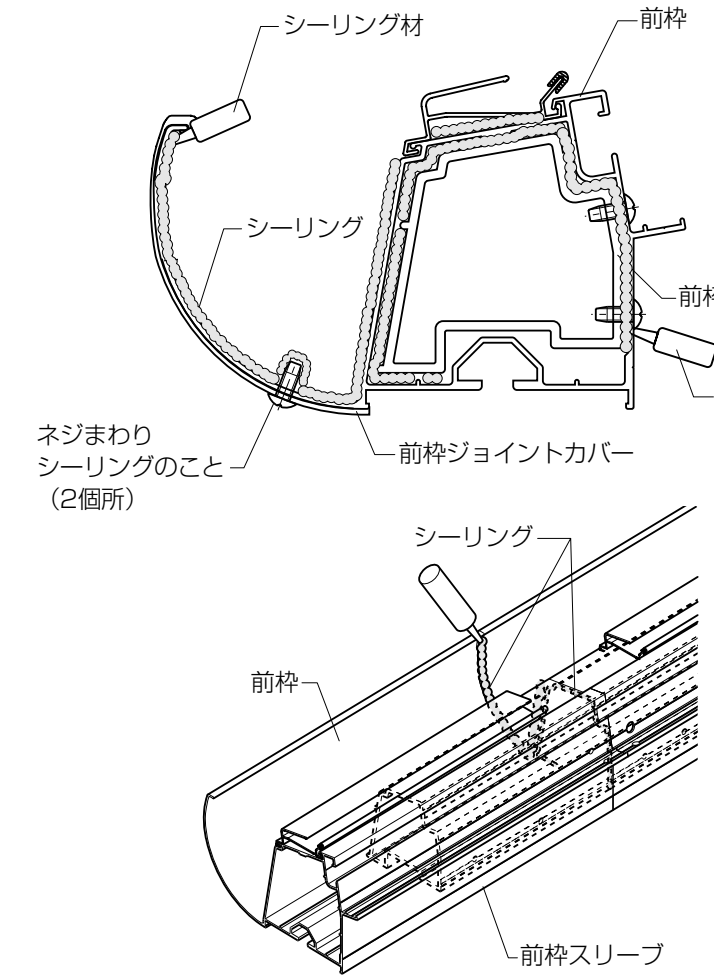
ポイント

- シリコンシーリングを行う場合、
アクリル板及びポリカーボネート
板のひび割れなどが考えられます
ので、当社指定のアルコール系シー
リング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960

3 前枠連結部の組立て

- ①前枠を前枠スリーブにネジ止めします。
 - ②前枠ジョイントカバーをネジ止めします。
- ※連結部には垂木と柱が取付きます。
※連結の際、柱は連結部への取付けを基本としますが、止む得ない場合は、移動しても
差し支えありません。

※ジョイント部シーリング箇所



注意

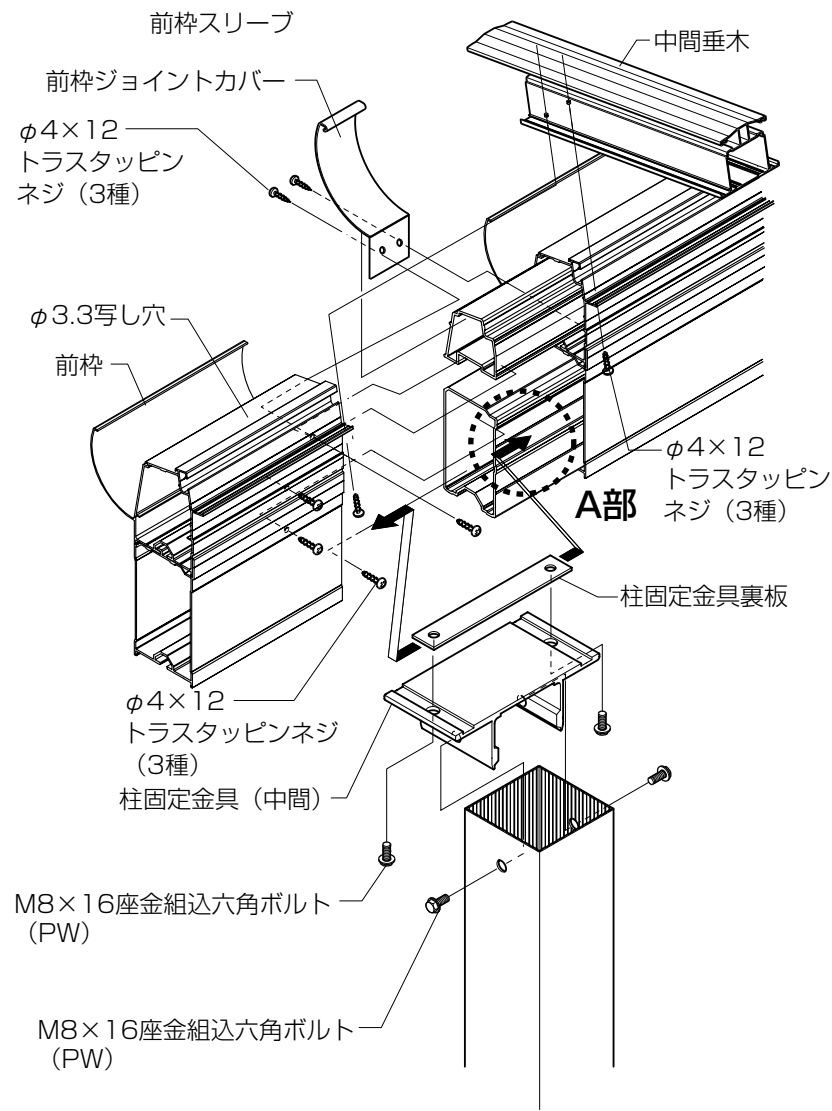
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

注意

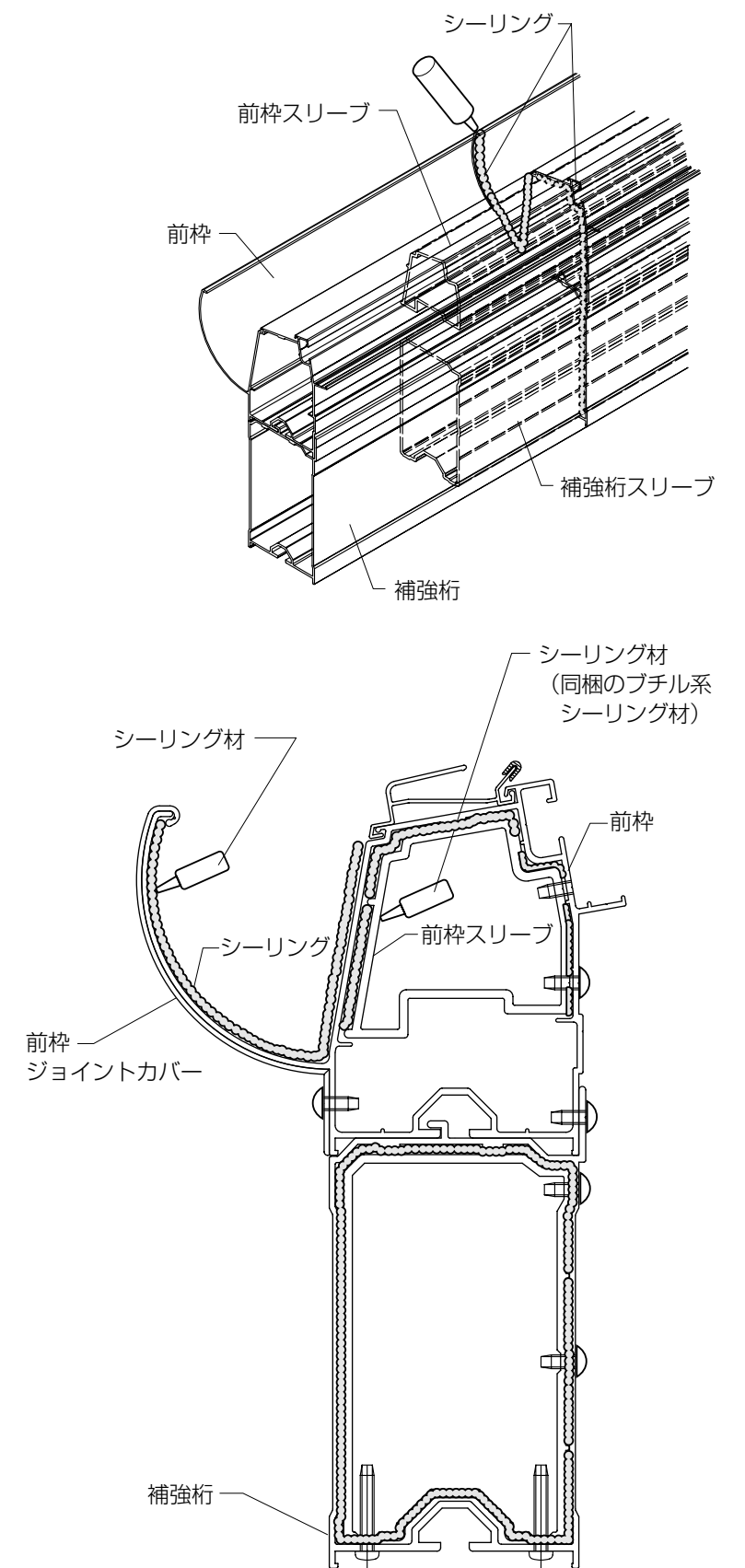
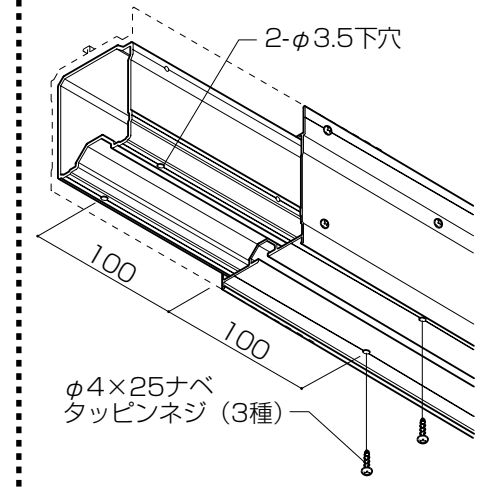
●指定の個所に必ずシーリングしてください。

ポイント

- シリコンシーリングを行う場合、
アクリル板及びポリカーボネート
板のひび割れなどが考えられます
ので、当社指定のアルコール系シー
リング材を使用してください。
- ・信越化学工業 シーラント72
- ・東芝シリコン トスシール380
- ・トーレシリコン SE960



■A部詳細図



■連棟タイプの場合2 (2.5間通しを使った連棟の場合)

※連棟時の間口部材（前枠・垂木掛け）の切り詰めは不要です。
 ※前枠の加工・垂木掛けの取付けについては、「連棟タイプの場合1」と同じです。

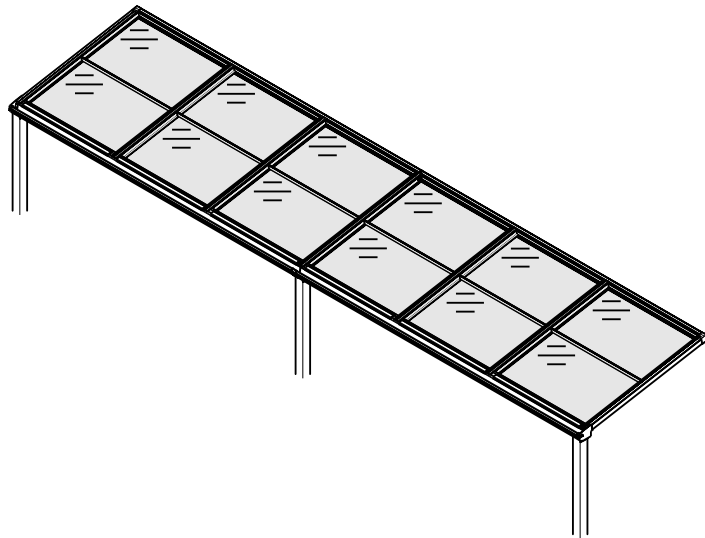
1 前枠の加工

2 前枠の組立て

3 垂木掛けの取付け

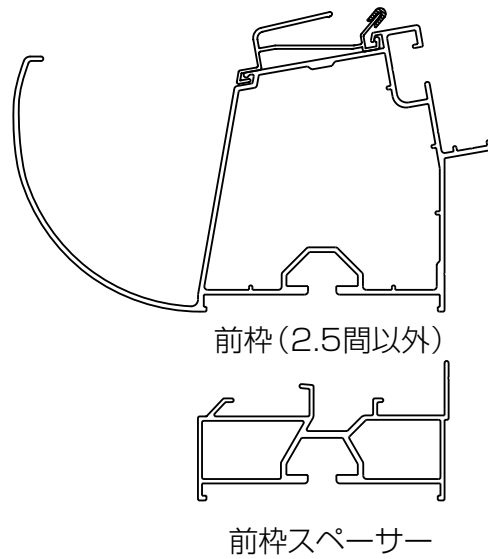
4 前枠連結部の組立て… ①前枠スリーブの取付け

②前枠ジョイントカバーの取付け

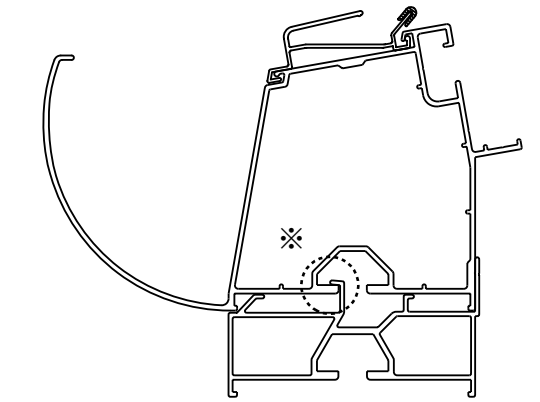
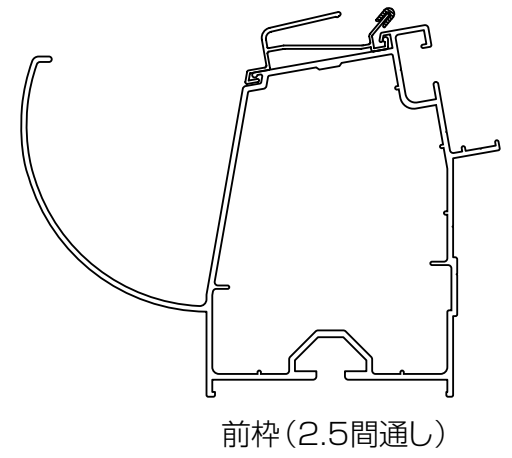
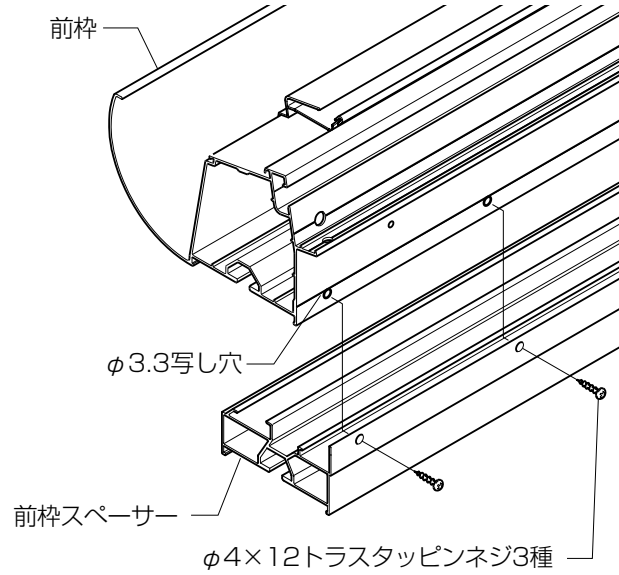


1 前枠の加工

※2.5間通しとの連結の場合、2.5間以外の前枠に前枠スペーサーを取付けます。



①図のように標準の前枠に前枠スペーサーを合わせ、φ3.3の写し穴を開け、固定してください。



※フィンが引っ掛かっているところを確認して、取付けてください。

2 前枠の組立て

前枠の組立てについては「連棟タイプの場合1」を参照してください。

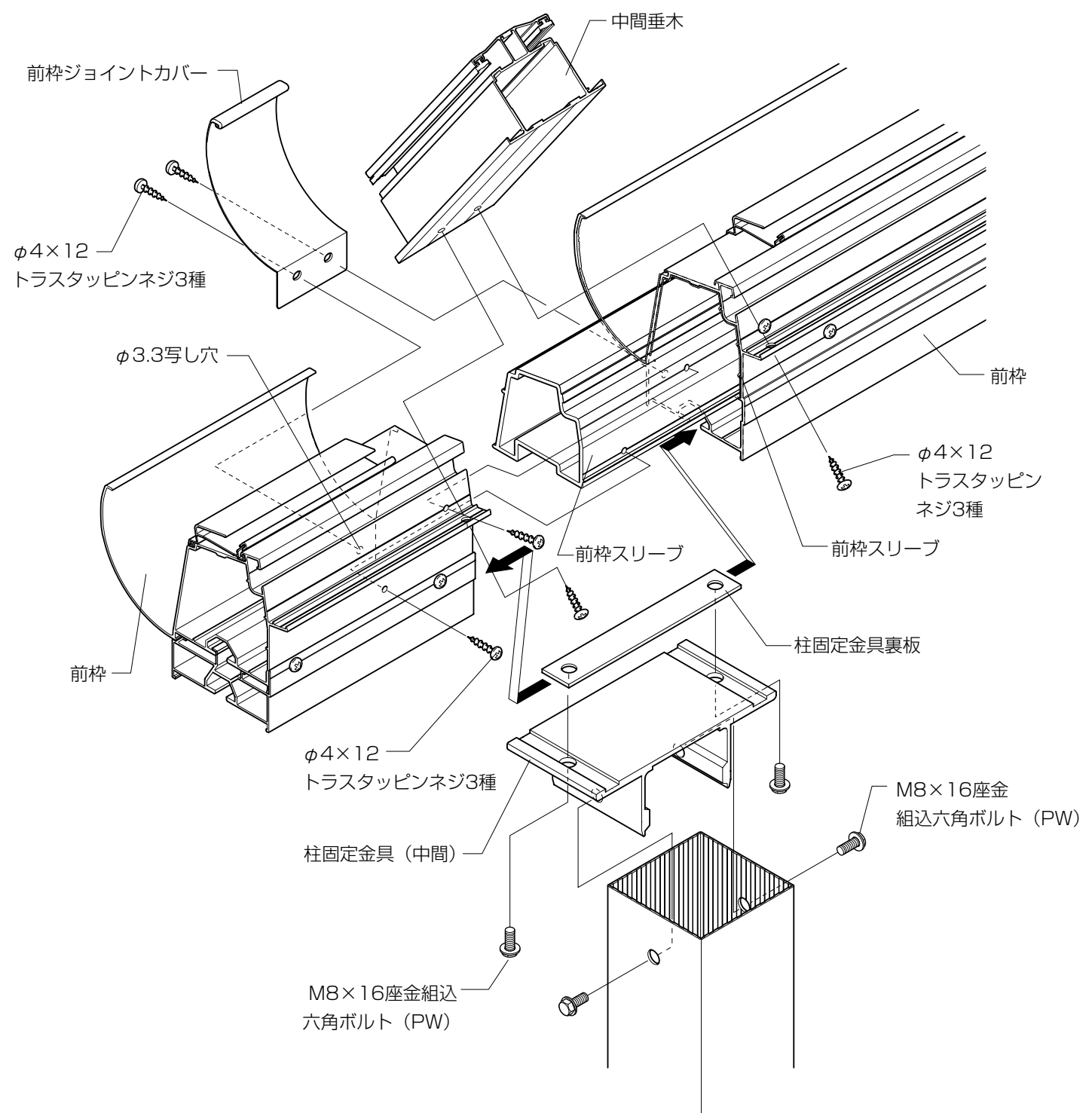
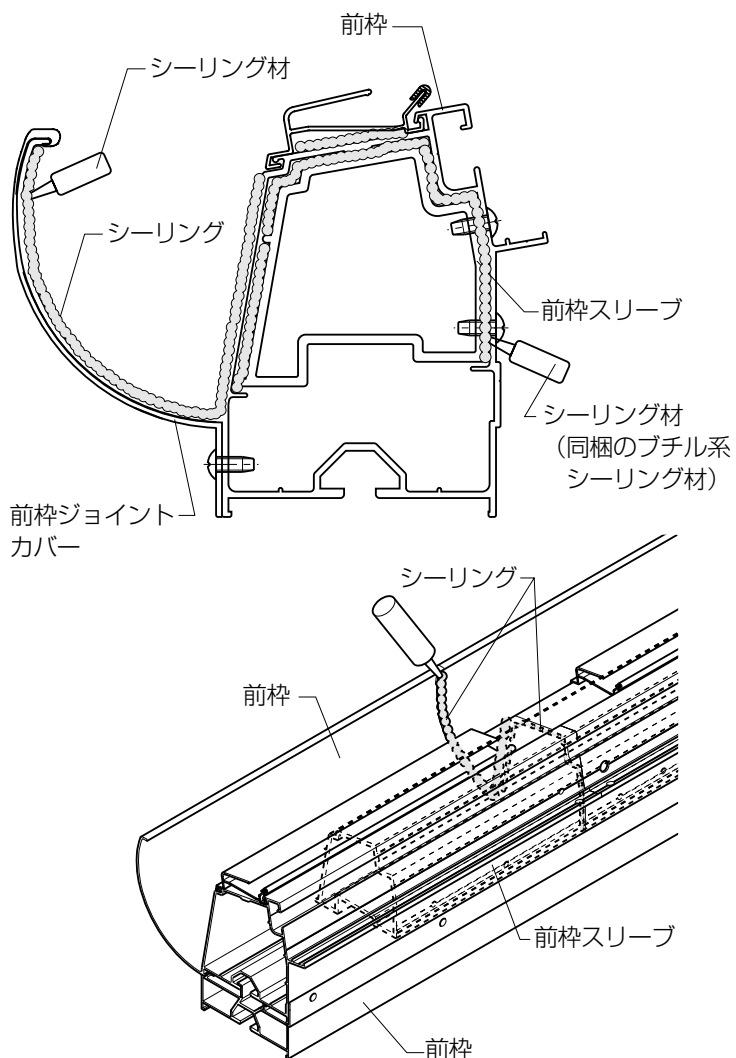
3 垂木掛けの取付け

垂木掛けの取付けについては「連棟タイプの場合1」を参照してください。

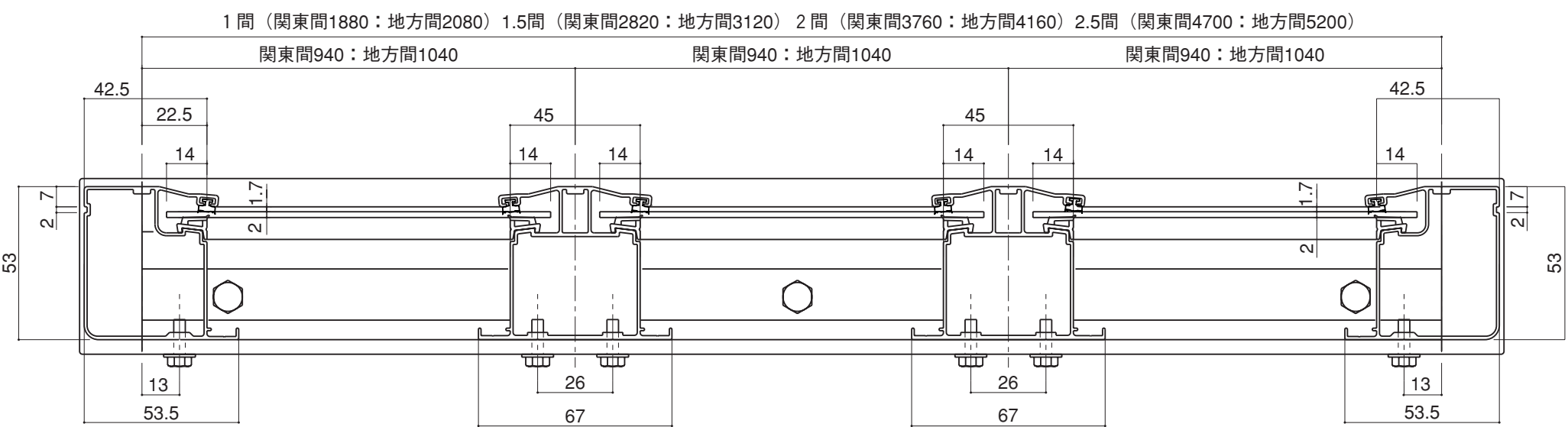
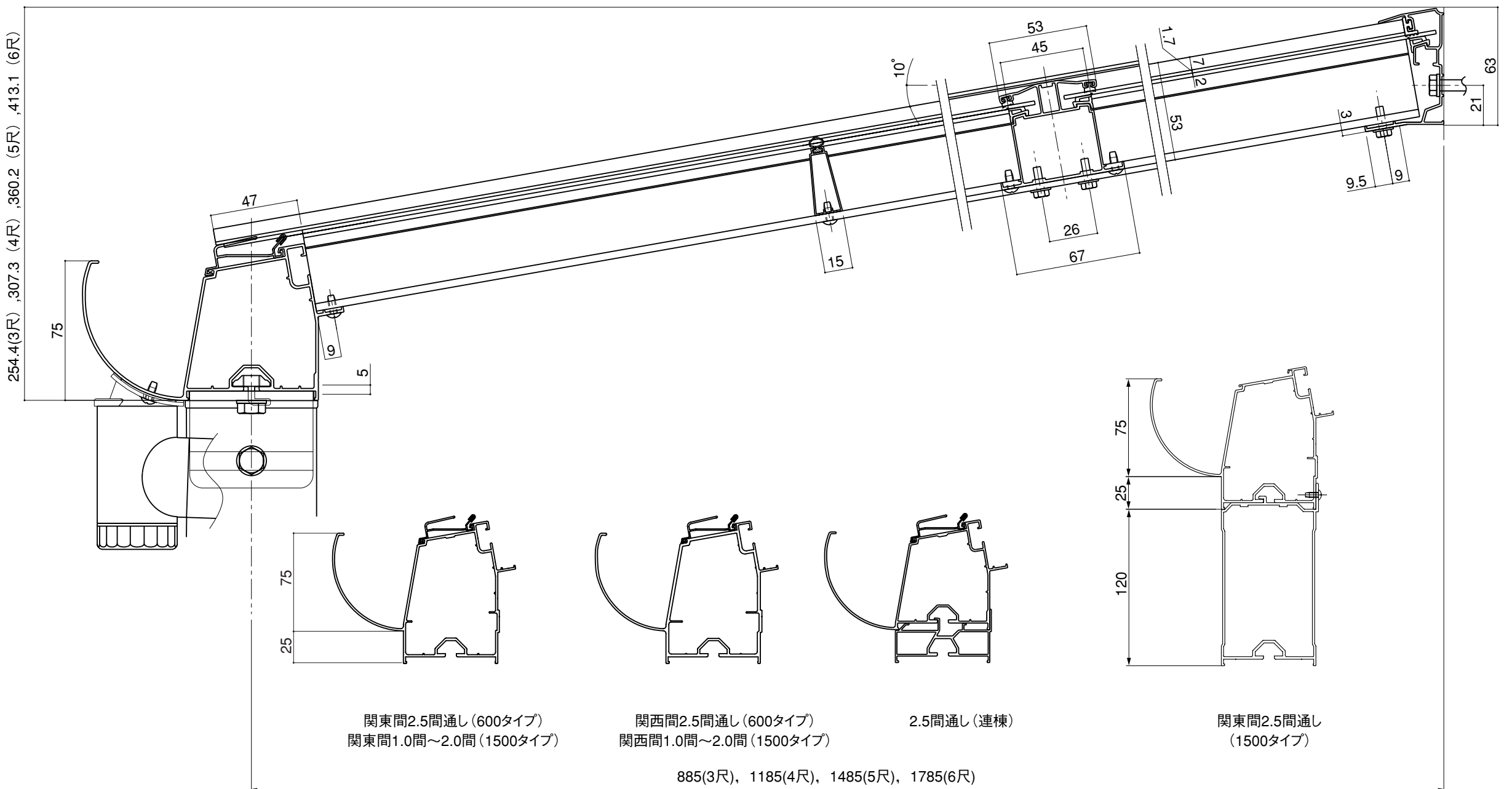
4 連結部の組立て

連結部の取付け方法については、「連棟タイプの場合1」を参照してください。
 ※前枠ジョイント部については、下図を参照してください。

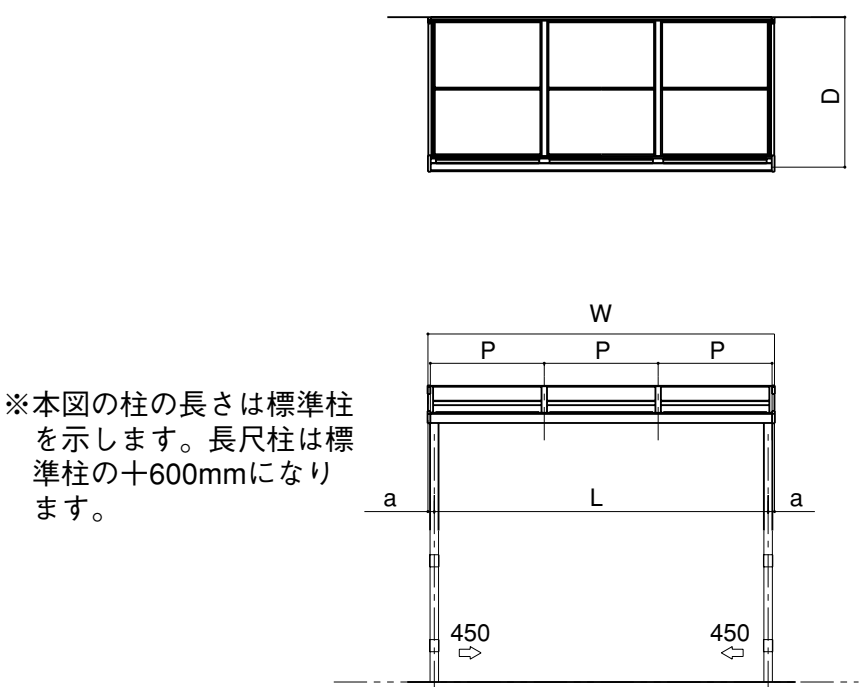
※ジョイント部シーリング箇所



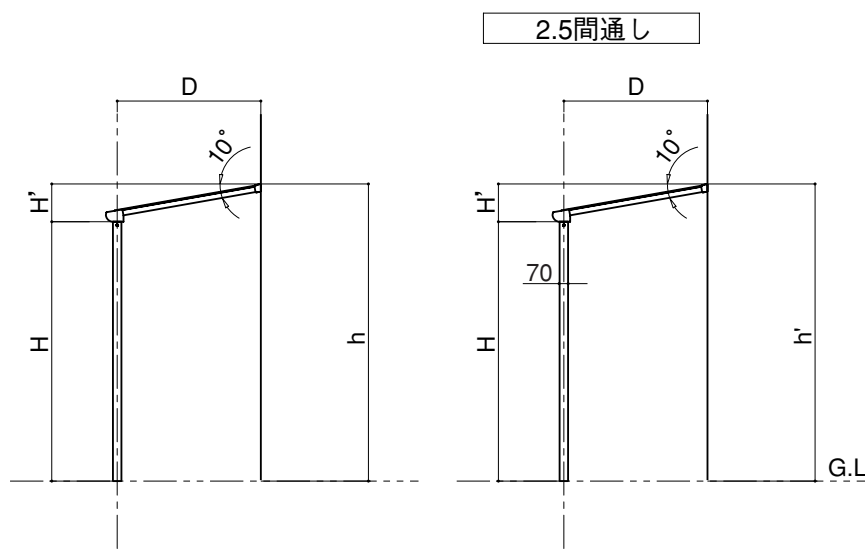
■納まり図



●単体



<柱を基礎で固定する場合> (1階設置)

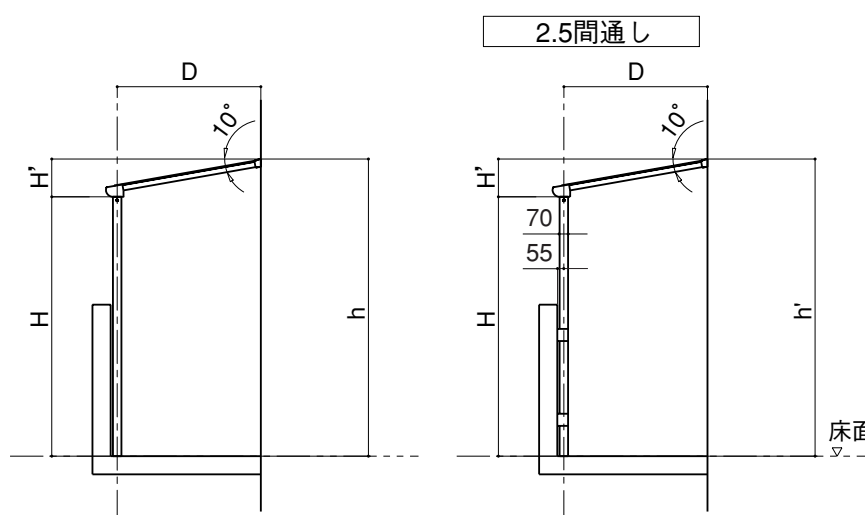


呼称	H	H'	h
3尺	2500	254.4	2754.4
4尺		307.3	2807.3
5尺		360.2	2860.2
6尺		413.1	2913.1

*h'・2.5間通し(600タイプ)の場合は、h+25

※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の+600mmになります。

<柱を造り付けバルコニーに固定する場合>



呼称	H	H'	h
3尺	2250	254.4	2504.4
4尺		307.3	2557.3
5尺		360.2	2610.2
6尺		413.1	2663.1

*h'・2.5間通し(600タイプ)の場合は、h+25

※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の+450mmになります。

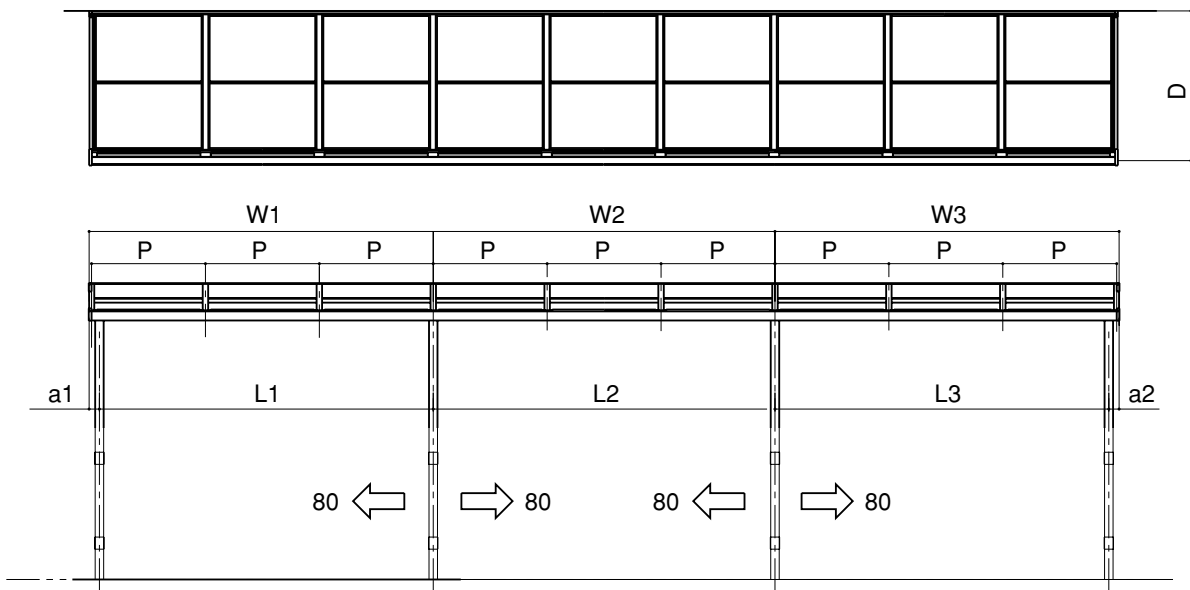
間口 (関東間) P=940		600タイプ		1500タイプ		87
呼称	W	L	a	L	a	
1.0間	1920	1850	35	1746		
1.5間	2860	2755	52.5	2686		
2.0間	3800	3650	75	3626		
2.5間通し	4740	4605	67.5	4566		

間口 (関西間) P=1040		600タイプ		1500タイプ		87
呼称	W	L	a	L	a	
1.0間	2120	2050	35	1946		
1.5間	3160	3005	77.5	2986		
2.0間	4200	3960	120	4026		
2.5間通し	5240	4915	162.5			

間口 (九州・四国間) P=1040		600タイプ		1500タイプ		87
呼称	W	L	a	L	a	
1.0間	2120	1945	87.5	1946		
1.5間	3160	2900	130	2986		
2.0間	4200	3855	172.5	4026		
2.5間通し	5240	4810	215			

出幅		呼称	D
		3尺	885
		4尺	1185
		5尺	1485
		6尺	1785

●連棟



間口（関東間） P=940

呼称	W1	W2	W3	600タイプ					1500タイプ (a=87)		
				L1	L2	L3	a1	a2	L1	L2	L3
2.5間 (1.0+1.5)	1900	2840	—	1850	2755	—	50	85	1813	2753	—
3.0間 (1.5+1.5)	2840	2840	—	2755	2755	—	85	85	2753	2753	—
3.5間 (1.5+2.0)	2840	3780	—	2755	3650	—	85	130	2753	3693	—
4.0間 (2.0+2.0)	3780	3780	—	3650	3650	—	130	130	3693	3693	—
4.5間 (2.0+2.5)	3780	4720	—	3650	4605	—	130	115	3693	4633	—
5.0間 (2.5+2.5)	4720	4720	—	4650	4605	—	115	115	4633	4633	—
5.5間 (2.0+1.5+2.0)	3780	2820	3780	3650	2755	3650	162.5	162.5	3693	2820	3693
6.0間 (2.0+2.0+2.0)	3780	3760	3780	3650	3650	3650	185	185	3693	3760	3693
6.5間 (2.0+2.5+2.0)	3780	4700	3780	3650	4605	3650	177.5	177.5	3693	4700	3693
7.0間 (2.5+2.0+2.5)	4720	3760	4720	4605	3650	4605	170	170	4633	3760	4633

間口（関西間） P=1040

呼称	W1	W2	W3	600タイプ					1500タイプ (a=87)		
				L1	L2	L3	a1	a2	L1	L2	L3
2.5間 (1.0+1.5)	2100	3140	—	2050	3005	—	50	135	2013	3053	—
3.0間 (1.5+1.5)	3140	3140	—	3005	3005	—	135	135	3053	3053	—
3.5間 (1.5+2.0)	3140	4180	—	3005	3960	—	135	220	3053	4093	—
4.0間 (2.0+2.0)	4180	4180	—	3960	3960	—	220	220	4093	4093	—
4.5間 (2.0+2.5)	4180	5220	—	3960	5055	—	220	165	—	—	—
5.0間 (2.5+2.5)	5220	5220	—	5055	5055	—	165	165	—	—	—
5.5間 (2.0+1.5+2.0)	4180	3120	4180	3959.5	3005	3959.5	278	278	4093	3120	4093
6.0間 (2.0+2.0+2.0)	4180	4160	4180	3960	3960	3960	320	320	4093	4160	4093
6.5間 (2.0+2.5+2.0)	4180	5200	4180	3959.5	5055	3959.5	293	293	—	—	—
7.0間 (2.5+2.0+2.5)	5220	4160	5220	5055	3960	5055	265	265	—	—	—

1500タイプには2.5間の連棟はありません。1.0～2.0間の組合せにしてください。その場合のa1、2寸法は87mmです。連棟時の柱は連棟部に施工してください。

出幅

呼称	D
3尺	885
4尺	1185
5尺	1485
6尺	1785

■梱包明細書

① 主柱Aセット (テラス用)

名称	員数	
	標準	長尺
主柱	2	2
柱固定金具 (端部)	2	2
堅樋 (φ40)	1	1
アンカー棒	2	1
M8×16座金組込六角ボルト (PW)	6	6
取扱説明書	1	1

③ 主柱セット (造付屋根用)

名称	員数	
	標準	長尺
主柱	2	2
柱固定金具 (端部)	2	2
堅樋 (φ40)	1	1
アンカー棒	2	2
M8×16座金組込六角ボルト (PW)	6	6
取扱説明書	1	1

⑤ 造付屋根用部品セット

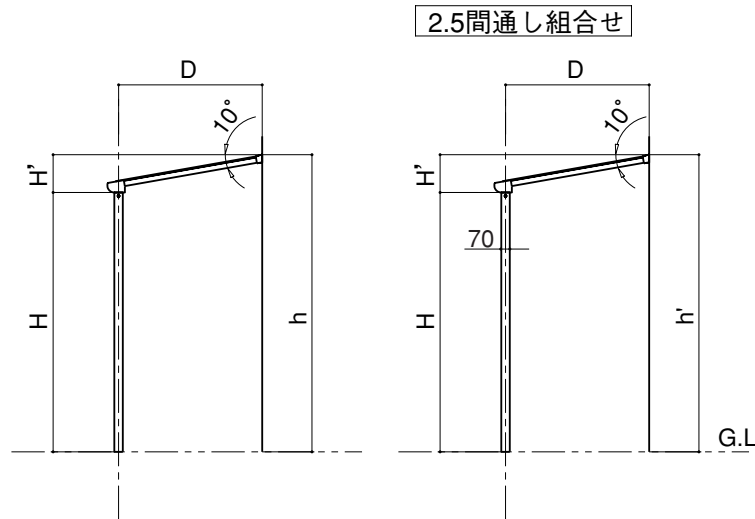
名称	員数	
	1本用	2本用
柱壁付固定金具	2	4
柱キャップ	1	2
M6×85六角ボルト	2	4
M6平座金	4	8
M6バネ座金	2	4
M6袋ナット	2	4
φ4×14ナベタッピンネジ3種	1	2
φ6×70六角タッピンネジ1種	4	8
φ4×12トラスタッピンネジ3種	2	4

⑦ 野縁セット

名称	員数							
	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間通し ※	
	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺
野縁	2	4	3	6	4	8	5	10

※ 1500タイプ2.5間通しは関東間のみです。

<柱を基礎で固定する場合> (1階設置)



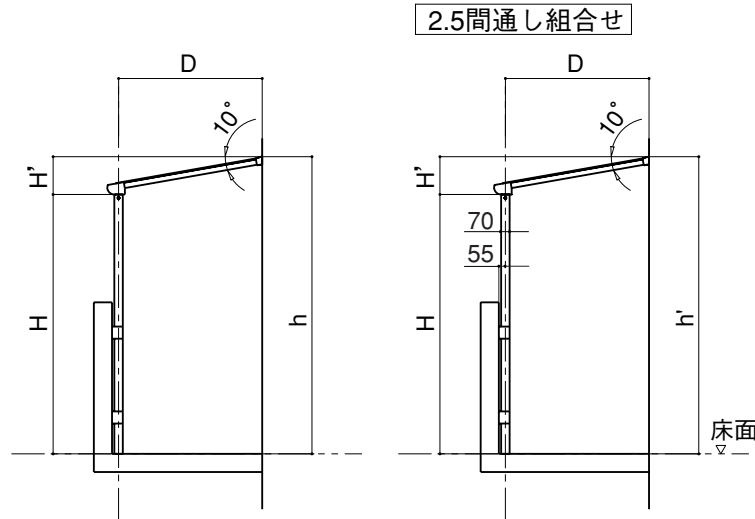
高さ

呼称	H	H'	h
3尺	2500	254.4	2754.4
4尺		307.3	2807.3
5尺		360.2	2860.2
6尺		413.1	2913.1

*h' 2.5間通し (600タイプ) の場合は、h+25

※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の+600mmになります。

<柱を造り付けバルコニーに固定する場合>



高さ

呼称	H	H'	h
3尺	2250	254.4	2504.4
4尺		307.3	2557.3
5尺		360.2	2610.2
6尺		413.1	2663.1

*h' 2.5間通し (600タイプ) の場合は、h+25

※本図の柱の長さは標準柱を示します。長尺柱は標準柱の+450mmになります。

間口（九州・四国間） P=1040

呼称	W1	W2	W3	600タイプ					1500タイプ (a=87)		
				L1	L2	L3	a1	a2	L1	L2	L3
2.5間 (1.0+1.5)	2100	3140	—	1902.5	2942.5	—	197.5	197.5	2013	3053	—
3.0間 (1.5+1.5)	3140	3140	—	2900	2900	—	240	240	3053	3053	—
3.5間 (1.5+2.0)	3140	4180	—	2900	3855	—	240	325	3053	4093	—
4.0間 (2.0+2.0)	4180	4180	—	3855	3855	—	325	325	4093	4093	—
4.5間 (2.0+2.5)	4180	5220	—	3855	4810	—	325	410	—	—	—
5.0間 (2.5+2.5)	5220	5220	—	4810	4810	—	410	410	—	—	—
5.5間 (2.0+1.5+2.0)	4180	3120	4180	3855	2900	3855	435	435	4093	3120	4093
6.0間 (2.0+2.0+2.0)	4180	4160	4180	3855	3855	3855	477.5	477.5	4093	4160	4093
6.5間 (2.0+2.5+2.0)	4180	5200	4180	3855	4810	3855	520	520	—	—	—
7.0間 (2.5+2.0+2.5)	5220	4160	5220	4810	3855	4810	562.5	562.5	—	—	—

1500タイプには2.5間の連棟はありません。1.0～2.0間の組合せにしてください。その場合のa1、2寸法は87mmです。連棟時の柱は連棟部に施工してください。

② 中間柱セット1本入り、主柱Bセット (中間柱2本入り) (テラス用)

名称	員数			
	中間柱 (1本入り)		主柱B (2本入り)	
	標準	長尺	標準	長尺
中間柱	1	1	2	2
柱固定金具 (中間)	1	1	2	2
柱固定金具裏板 (中間)	1	1	2	2
堅樋 (φ40)	1	1	1	1
アンカー棒	1	1	2	2
M8×16座金組込六角ボルト (PW)	4	4	8	8

④ 中間柱セット (造付屋根用)

名称	員数	
	標準	長尺
中間柱	1	1
柱固定金具 (中間)	1	1
柱固定金具裏板 (中間)	1	1
堅樋 (φ40)	1	1
アンカー棒	1	1
M8×16座金組込六角ボルト (PW)	4	4

⑥ 長さセット 下止め仕様

名称	員数			
	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間通し ※
前枠	1	1	1	※ 1
下止め用垂木掛け	1	1	1	1
パネル押え	2	3	4	5
後付けビード	2	3	4	5
堅樋 (φ40) L=800mm	1	1	1	1

※ 1500タイプ2.5間通しは関東間のみです。

■ 梱包明細書 つづき

⑧ 前枠スペーサーセット

名 称	員 数		
	1.0間	1.5間	2.0間
前枠スペーサー	1	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	5	5	5

⑨ 端部垂木セット 下止め仕様

名 称	員 数			
	3尺	4尺	5尺	6尺
端部垂木(右)	1	1	1	1
端部垂木(左)	1	1	1	1
後付ビート	2	2	2	2

⑩ 中間垂木セット 下止め仕様

名 称	員 数											
	3尺			4尺			5尺			6尺		
	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入	1本入	2本入	3本入
中間垂木	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3
後付ビート	2	4	6	2	4	6	2	4	6	2	4	6

⑪ 桁Bセット 1500タイプ2.5間 (関東間)

名 称	員 数
補強桁B	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	8

⑫ 長さ連結材セット

名 称	員 数	
	標準	長尺
前枠スリーブ	1	1
前枠ジョイントカバー	1	—
前枠ジョイントカバー (2.5間)	—	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	6	6

⑬ 長さ連結材セット 桁B用

名 称	員 数
補強桁Bスリーブ	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	4
φ4×25ナベタッピンネジ3種	4

⑭ 部品セット 下止め仕様(単体) 600タイプ、1500タイプ

名 称	員 数															
	600タイプ								1500タイプ							
	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間		1.0間		1.5間		2.0間		2.5間 ※	
	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺
前枠端部キャップ(右)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠端部キャップ(左)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛け端部キャップ(右)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛け端部キャップ(左)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
前枠スライド部品 (下止め)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
垂木掛けスライド部品 (下止め)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	8	13	13	19	17	26	21	32	8	13	13	19	17	26	21	32
M4×12(+)六角ボルト	4	4	6	6	8	8	10	10	4	4	6	6	8	8	10	10
M4平座金	4	4	6	6	8	8	10	10	4	4	6	6	8	8	10	10
φ6×70六角タッピンネジ1種	3	3	4	4	5	5	6	6	3	3	4	4	5	5	6	6
M6平座金	3	3	4	4	5	5	6	6	3	3	4	4	5	5	6	6
φ4×12ナベタッピンネジ3種	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
ブチルシーリング材	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ1種 (前枠A)	2	2	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
φ4×18トラスタッピンネジ1種 (前枠B)	—	—	—	—	—	—	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
穴ふさぎシール	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
取付説明書	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
雨 樋 部 品	雨樋アタッチメント	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	穴ふさぎキャップ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	雨樋パッキン	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	エルボ (92°)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	ドレンエルボ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	でんでん	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	接着剤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×14トラスタッピンネジ3種	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

※ 1500タイプ2.5間通しは関東間のみです。

⑮ 部品セット 下止め仕様(連棟) 600タイプ、1500タイプ

名 称	員 数															
	600タイプ								1500タイプ							
	1.0間		1.5間		2.0間		2.5間		1.0間		1.5間		2.0間		2.5間 ※	
	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺	3,4尺	5,6尺
前枠ジョイントカバー	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×12トラスタッピンネジ3種	15	19	19	26	24	32	28	39	15	20	20	26	24	32	28	39
M4×12(+)六角ボルト	4	4	6	6	8	8	10	10	4	4	6	6	8	8	10	10
M4平座金	4	4	6	6	8	8	10	10	4	4	6	6	8	8	10	10
φ6×70六角タッピンネジ1種	3	3	4	4	5	5	6	6	3	3	4	4	5	5	6	6
M6平座金	3	3	4	4	5	5	6	6	3	3	4	4	5	5	6	6
ブチルシーリング材	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
穴ふさぎシール	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
雨 樋 部 品	雨樋アタッチメント	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	穴ふさぎキャップ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	雨樋パッキン	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	エルボ (92°)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	ドレンエルボ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	でんでん	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	接着剤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
φ4×14トラスタッピンネジ3種	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

※ 1500タイプ2.5間通しは関東間のみです。

⑯ アクリル・ポリカーボネート・熱線遮断ポリカーボネート屋根パネルセット

名 称	員 数											
	3尺			4尺			5尺			6尺		
	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入	2枚入	3枚入	4枚入
パネル3尺 (関東間/909.5×924 t=2.0) (関西 九州・四国間/909.5×1024 t=2.0)	2	3	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—
パネル4尺 (関東間/1214×924 t=2.0) (関西 九州・四国間/1214×1024 t=2.0)	—	—	—	2	3	4	—	—	—	—	—	—
パネル5尺 (関東間/1518.5×924 t=2.0) (関西 九州・四国間/1518.5×1024 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	2	3	4	—	—	—
パネル6尺 (関東間/1823.5×924 t=2.0) (関西 九州・四国間/1823.5×1024 t=2.0)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3	4